

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	組織機構の再編(部制の廃止、課・係の統廃合等)		体制コード	1-1-1-1		
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318		
取組時期	H21	検討	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23	実施	H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
23年4月の組織再編を見据え、支所での係統合を進めるとともに、政策推進課に自治振興室を設置した。						
平成22年度中の実施目標(P)						
部制の廃止等、組織再編に伴う準備を進める。						
平成22年度取り組み内容(D)						
23年4月の組織再編に向けた各種例規の整備及び人員配置を実施した。						
取り組みについての成果(C)						
「部制」の廃止とともに「係」単位から「室」単位への大幅な移行が図られた。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
人事異動内示を早めるなどにより大きな混乱がなく、計画どおりの組織再編がなされた。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
新たな組織における人員数が適正なものであったかの検証が必要である。 また、更に職員数を減していく中での小規模な組織改編が必要となると思われる。						
平成23年度中の実施目標(P)						
組織再編後の各課業務の検証及び本庁・支所間の業務量の検証。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市民への担当部署人員配置の周知がなされていない。(支所は実施)</p> <p>・人員配置に偏りが無いか。係によって負担の大きいところがあるように思われる。</p> <p>・従来よりも縦割り組織になったように思うし、以前から要望の人事交流が十分でないのではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	係等の統廃合(職員減員分の対応)		体制コード	1-1-1-2		
所管	下水道課 管理業務室		担当者・内線番号	中村豊昭・214		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	3係
	H23		H23	-	H23	1室、1係
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
-						
平成22年度中の実施目標(P)						
-						
平成22年度取り組み内容(D)						
H23の市組織改革に合わせ、課内の係等の統廃合計画の検討を行った。						
取り組みについての成果(C)						
3係が1室2係となった。下水道課としては減員はなかったが、支所の組織再編計画も合わせて考えると、下水道課所管業務の人員としては総体的に減員となっている。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおりとなった。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
特に混乱も無く、想定どおりに平成23年度を迎えることができた。						
平成23年度中の実施目標(P)						
平成23年度としては、係等の統廃合計画は無い。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・系の統廃合について、画一的な割り振りではなく、地域ごとの柔軟な取り組みが検討できないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会				
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有				
取組内容	定員適正化計画に基づく定員管理の実施		体制コード	1-2-1-2					
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318					
取組時期	H21	-	H21	945人	成果数値	H21	945人		
	H22	-	H22	911人		H22	899人		
	H23	-	H23	885人		H23	863人		
	H24	-	H24	857人		H24			
	後期		職員数			職員数			
平成21年度取組み内容(D)									
-									
平成22年度中の実施目標(P)									
-									
平成22年度取組み内容(D)									
計画どおり、採用者数を退職者数の3割以内とした。									
取組みについての成果(C)									
定年以外の退職(勸奨・普通退職)者がいたことから結果として計画以上の成果が見られた。									
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
最終目標数を達成するという観点においては良好といえるが、想定外の勸奨退職者・普通退職者が多数いたため、計画以上の職員数の減少化が進んでいる。そのため、安定的な定員管理の観点からは必ずしも良い傾向とはいえない。									
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)									
他の行革実施項目との整合性が図れていない面があるため、職種により不具合が生じていると感じる。									
平成23年度中の実施目標(P)									
計画(目標)数値と実数との乖離による影響の検証と今後の数値のあり方についての検証。									
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
計画に対する検証・評価の部分が不足していると思われるので、C評価とした。									

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・定員削減が主眼であるが、削減計画以上の職員減少は職員への負担が大きくなるので、想定外退職者数も含めて採用人数を計画すべき。</p> <p>・職員数の適正とは、どのようなことから適正と判断されているのか、また定年以外の退職者が出たということは成果と捉えてよいのか、職員の適正や潜在能力を見だし課題に積極的に取り組めるように、使命感や達成感が得られる職場環境をつくることを目指さなければならない。</p> <p>・「職種による不具合が生じている」とあるが、由々しきことなのでレポートがあるべきである。</p> <p>・定員適正化計画に基づいた職員数の減少化が進んでいるが行政サービスの低下を最小限にとどめる対応策も合わせて行う必要がある。また、広い面積を有する村上市の防災、防犯等を考慮し、消防署等の職員については十分考慮する必要がある。</p> <p>・採用者数を退職者数の3割以内としたとあるが、職種により、不具合が生じているとの反省点があった。職務を効率よく実施するには、職種ごとの定数管理をしたほうが良いと思われる。</p> <p>・定員管理目標に到達という観点からすれば、数字上は達成なのだろうが本来の適正化という観点からすれば、長期休職等の職員が多数存在するということは、もっと違う側面からの評価基準が必要ではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月29日		平成23年7月1日		平成23年7月22日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		定員管理状況の公表				体制コード		1-2-1-3			
所管		総務課人事係				担当者・内線番号		太田秀哉・318			
取組時期	H21	公表		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23	-	
	H24				H24	-			H24	-	
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
計画を市のホームページにおいて公表した。											
平成22年度中の実施目標(P)											
引き続き計画の進捗状況等について公表していく。											
平成22年度取り組み内容(D)											
引き続き計画の進捗状況等について公表していく。											
取り組みについての成果(C)											
特になし											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
特になし											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
特になし											
平成23年度中の実施目標(P)											
これまでどおり計画の進捗状況等について公表していく											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・組織機構の再編がひとまず区切りがついたということであれば、各部署ごとの進捗状況も今後検討すべきではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	職員数・職員給与の検証		体制コード	1-2-1-4				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			-	H22		-	
	H23			-	H23		-	
	H24			-	H24		-	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
組織改革ワーキング部会において検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>これまでも定年退職者に加え、定年前の早期退職者が増えていることから、定員適正化計画以上に職員数が減ってきているが、平成23年度新規採用者数は、年度末退職予定者数の3割として組織改革ワーキング部会で協議を行った。</p> <p>なお、職員給与の検証は行っていない。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>人件費の縮減(H22~23 対定員適正化計画目標数)</p> <p>行政職 @7,328千円 * 9人 = 65,952千円... 技能職 @6,815千円 * 1人 = 6,815千円...</p> <p>+ = 72,767千円</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
職員数については協議を行ったが、職員給与についての協議は行わなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
職員定員適正化計画で示した目標値以上に職員が減ってきているが、行政サービスの低下につながらないよう管理が必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き、退職3割補充を基本として行っていくことになるが、見込みを上回る退職者数となっていることから、新規採用者数の検討も必要。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>所管課評価に同じ。</p> <p>職員給与の検証については、平成23年度中の実施目標にも書かれていないが、期限を決めて結論を出すよう努めること。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政改革には財政改革も含まれるので、最近の民間給与の状況及び物価指数の変動などを踏まえ棒給表の検討も早期に着手する必要がある。</p> <p>・職員給与は社会経済情勢や、財政状況の変化に適用したのもになるよう早急に検証していかねばならない。また、村上市の行政運営に応じた定員管理に努めなければならない。</p> <p>・「職員給与についての協議は行わなかった。」とあるが、なぜ行わなかったのか。行えなかった原因がどこにあるのかの掘り下げが足りない。</p> <p>・財政改革は急務な問題なので、定数ばかりに目が行くのではなく、給与体系にも独自に検証すべきである。</p> <p>・「職員給与の協議・検証は行わなかった」とあるが、 何故できなかったのか。 合併前の各市町村間の給与体系(水準)の違いで困難なのか。 除々にでも「村上市」としての給与水準を図って行くべきと思う。</p> <p>・職員給与の検証及びそれに基づく改革を急ぐべき。特に昇格昇給基準の見直しと、その詳細な公表を強く望む。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月29日		平成23年7月1日		平成23年7月22日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		職場の状況把握及び改善				体制コード		1-3-1-1			
所管		総務課人事係				担当者・内線番号		太田秀哉・318			
取組 時期	H21	実施		目標 数値	H21	-		成果 数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23	-	
	H24				H24	-			H24	-	
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
年末の勤務の代休取得を徹底した。											
平成22年度中の実施目標(P)											
時期的に業務の集中する職場の改善を検討する。											
平成22年度取り組み内容(D)											
時期的に業務の集中する職場の改善を検討し、人事異動の際に反映											
取り組みについての成果(C)											
特に成果は出ていない											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
				<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取組に対して目に見える成果が出ていない											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
合併後の職員数の削減による職員個人あたりの業務量がどのようになっているか把握できない											
平成23年度中の実施目標(P)											
組織再編後の各職場の状況の把握											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
				<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
組織再編もあるが、各職場の状況把握から改善に向け検討すること。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「職員個人当たりの業務量がどのようになっているのか把握できない」とあるが、1-3-1-2の「担当者の業務量の増加などの影響が出ている」と矛盾している。</p> <p>・漠然とした感覚ではなく、具体的事務ごとの所要時間・月間処理件数などのサンプル調査を実施し測定する必要がある。</p> <p>・職員個人の業務量と各職場の状況の把握ができていない状況で、市民サービスを考える事は出来ないはずである。またこの問題を棚に上げ定員適正化を議論することはできないのではないか、場当たりのな感じである。地域の住民や民間企業等との連携を図り、住民サービスの向上に努めなければならない。</p> <p>・定数及び待遇を決定するのに、部門別の業務量を的確に把握することは大前提であるが、なされていないことは大きな瑕疵である。</p> <p>・「成果が出ていない」とは、検討・取り組み内容に問題があったためか、当分の間その成果が出るためには時間が必要ということか。職員間に「不平感」といったものはないのか。</p> <p>・職場の状況把握ができていないとの反省点があったが、担当課長が業務量を把握できるとし、職務を効率よく実施する人員配置の最前線だと思う。</p> <p>・病欠職員の減少に向けた具体的な対策が必要ではないか。</p> <p>・継続した人事異動の希望や意見を聴取し、環境の変化などを常に把握するような取り組みのシステム化が必要なのではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	時差出勤制度等内容の周知徹底		体制コード	1-3-1-2				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
機会を捉え周知に努めた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
管理職員への周知を徹底し、制度活用の促進を図る。								
平成22年度取り組み内容(D)								
管理職員への周知を徹底し、制度活用を促した								
取り組みについての成果(C)								
職員に対する制度の周知・浸透が図られた								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
職員に対する制度の周知・浸透は図られたと思われるため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
本市の場合、職場が多様であり勤務体制が特殊なものが多いことから、一律的な対応が困難な事例が発生している。 また、職員数の縮減をしていることから臨時職員の雇用等、正職員人件費以外の面での負担や担当者の業務量の増加などの影響が出ている。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き制度の周知徹底に努める								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、他の部分で影響が出ているのであれば、定員適正化計画等の検証を行い、対応に努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「担当者の業務量の増加などの影響が出ている」とあるが、1-3-1-1の「職員個人当たりの業務量がどのようになっているのか把握できない」と矛盾している。</p> <p>・漠然とした感覚ではなく、具体的事務ごとの所要時間・月間処理件数などのサンプル調査を実施し測定する必要がある。</p> <p>・「本市の場合、職場が多様であり…」という感想が理解しがたい。多様特殊なのであればその部署ごとに対応すればいいのであり、そもそも行政はオンリーワンの存在なのであるから、多様特殊性を理由にするのは問題である。</p> <p>・時差出勤の職員について、出勤・退庁時の広報方法の工夫もあっていいのでは。</p> <p>・時差出勤などの取り組みにより、臨時職員等の総時間数は増減しているのか。定員を減らしているのに、臨時職員等の勤務総時間が増加しては、何の意味もなさいと考えられる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月29日		平成23年7月1日		平成23年7月22日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		職員研修(階層別、専門別)の受講			体制コード		1-4-1-1				
所管		総務課人事係			担当者・内線番号		太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23	-	
	H24				H24	-			H24	-	
	後期				(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)				
平成21年度取組み内容(D)											
市町村総合事務組合が主催する階層別・専門別研修を主に、該当職員を受講させた。											
平成22年度中の実施目標(P)											
引き続き計画に沿い、対象者を受講させる。											
平成22年度取組み内容(D)											
職員を計画どおりに受講させた											
取組みについての成果(C)											
成果は職員個人のスキルによるものが大きいことから一概には言えない											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
受講予定の研修は一通り受講させた											
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
合併前の職員採用形態や研修受講形態の違いから、現時点では均等化することが重要と考える											
平成23年度中の実施目標(P)											
引き続き計画に沿い、対象者を受講させ、均等化を図る											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 ただし、合併による影響を解消するためには計画以上の実施の検討も必要。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・義務的研修受講は最低限必要であるが、積極的にスキルアップを希望する職員には『受講料半額補助』などの方法で受講させ、その成果を仕事(職場)にフィードバックしてもらうということも必要でないか。</p> <p>・研修することだけに目線が行っているように感じられる。何のために研修をするのか、受けた研修がどのように自治を高めていく事につながっているのか検証を重ねる必要がある。</p> <p>・計画通り受講させることが目的でないので、スキルアップや意識改革のための創意工夫と研修効果や力量の検証方法の検討システムが必要とされる。4-1-1-4にも「職員のスキルアップが必要」とあるように、各部署で必要とされる研修の要望に即した研修計画の立案も必要と思われる。</p> <p>・フィードバックと成果のチェックが働いていない。</p> <p>・「研修受講」が目的ではない。あくまでも職員の資質向上が目的である。受講はその手段。受講成果向上のための内部体制の構築が肝要と思う。</p> <p>・専門研修は不足していないか。目指す新市の職員像に近づいているか。他の自治体と研修内容や受講人員を比較するよりも、総合計画で目指す市の青写真を実現できる職員の育成のための、オリジナルな職員育成プログラムの創設を望む。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会					
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有					
取組内容	地域活動への積極的参加		体制コード	1-4-1-2						
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318						
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-		
	H22			-	H22		-			
	H23			-	H23		-			
	H24			-	H24		-			
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)			
平成21年度取り組み内容(D)										
これまでも機会を捉え職員に周知しているが、特に特別な取り組みはしていない。										
平成22年度中の実施目標(P)										
地域活動参加の有効性を検証し、具体的事例等を明示し周知を図る。										
平成22年度取り組み内容(D)										
特に行っていない										
取り組みについての成果(C)										
特になし										
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
取組み未実施のため										
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)										
「地域活動」については、市職員として積極的に参加すべきと考えるが、その一方では職務時間外のこともあり、強制的にとらえられないように慎重を期す部分もある。核家族化が進む現状では、プライベートが忙しいということも理解はできるので、難しいと感じる。										
平成23年度中の実施目標(P)										
機会を捉えて参加を促すよう、周知を図る										
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い	
取り組みを行っていないので、D評価とした。										

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・村上市に限ったことではないが、市の職員の「地域活動」については以前より消極的であると感じていた。市の職員達はまちづくりのプロである。このプロの考え方そして技術を地域活動に取り入れることが出来るならば、地域の大きな力になることは間違いない。現在民間企業でさえ地域との結びつきや、地域の自然保護活動などに参加しつつある。市の職員が地域活動に参画していないのは、地域の活動というものが、どのようなものなのかを知らないだけではないだろうか。出来るならば職員一人ひとりにテーマを与え、そのテーマに沿った地域活動に参加させるぐらいの指導力が欲しいものである。評価の中に取り組みを行っていないのでD評価としたと記載されているが、参加していない事が悪いことではなく、地域活動というものがどのようなものなのかを、しっかりと教えて来なかった事が一番に悪いことだと思う。この取り組みについては市の組織全体が今一度真剣に議論する必要がある。職員は積極的に地域の活動に参加し、市民との対話を深め、行政と市民、地域の役割を確認し住民協働社会の構築を目指してほしい。市の職員であるという誇りを持ち地域活動を自ら支えていく位の粋を期待するものである。</p> <p>・取り組みについての感想の全文「地域活動については、市職員として積極的に参加すべきと考えるが、その一方では職務時間外のこともあり、強制的にとらえられないように慎重を期す部分もある。核家族化が進む現状では、プライベートが忙しいということも理解はできるので、難しいと感じる。」ということを書きこと自体が市職員として問題である。</p> <p>・24年度から実践される「協働のまちづくり」事業を契機に参加活動が促進されるだろうと思われるので、職員も徐々にその意識が高揚していこうと期待する。</p> <p>・職員の意識の問題だと思うが、地域活動への参加は、協働のまちづくりの第一歩だと思う。積極的な参加を希望する。</p> <p>・地域活動参加について、職員の意識改革とともに、その評価手法も確立する必要があると思う。既に、様々な地域活動を実践している職員が、自らの時間を割いて献身的に従事している実態があるのだから。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	本庁と支所、支所間の人事異動の積極的实施		体制コード	1-4-1-3				
所管	総務課・人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
機構改革の際の人事異動で検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
各支所から本庁への異動については、これまでどおり実施した								
取組みについての成果(C)								
特になし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
本庁で培ったスキルを支所で活かすような人事交流となっていないため								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
合併前の各市町村における年齢別職員数の違いや昇任時期の違いなどにより単純な人事異動の実施は困難と考える。								
平成23年度中の実施目標(P)								
導入手法の検討								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い				
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
本庁から支所および支所間の異動については、合併時よりも減っているので、D評価とした。 なお、市民の一体感の醸成のためにも、市役所が率先して旧市町村の壁を越えるよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・人事異動・交流の本筋を捉えていない。</p> <p>・本庁、支所等の出先機関の機能のあり方を十分検証し職員の意識改革のためにも本庁から支所及び支所間の人事異動については旧市町村の垣根を越え積極的に行う必要がある。</p> <p>・管理職級の積極的な人事交流を行革委員会でも要望してきたところであるが、残念ながらその成果は認めるには遠いと思う。給与の検証に全く取り組んでいないのに、あたかも合併前の各市町村の給与等の制度差が人事交流の足かせとなっているかのような記述は、評価できないと考える。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	人事考課制度の創設(旧村上市人事考課制度の見直し検討)		体制コード	1-4-2-1				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
旧村上市の制度をベースに新しい組織体制に合わせ、制度の見直しを行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
係長級以上の職員に試行し、制度の検証を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
制度の試行を行い、検証を行った								
取り組みについての成果(C)								
制度の試行により職員間の「評価」に対するギャップがかなりあることがわかった								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
試行翌年度に組織再編があることから、実態をとらえる検証を行うことができなかったため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
組織改編を挟んでの制度構築・試行は無理がある。再編された組織がある程度安定する状態で制度構築・試行を図るべきと感じた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
再編後の組織に合わせるための検証をする								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、計画的に取り組むを行うこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・年功序列、不要不急な人材などの悪しき状態打破のため、至急の構築を求める。</p> <p>・考課制度導入にあたり、その評価に対する考え方の基準作りとそれに合わせた研修の実施により、制度導入前の「地ならし」が必要なのではないか。評価方法の公正化・透明化をはかり、職員に不合理な待遇となるようなことが無いよう、慎重な計画が必要と思われる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	人事考課制度(係長以上)の試行、運用		体制コード	1-4-2-2				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		試行	H22		-	H22	-
	H23		運用	H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
21年度に構築した制度に基づき、係長級以上の職員に試行する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
係長級以上の職員による試行を行った								
取り組みについての成果(C)								
対象者のほぼ全員が受講することができた								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
研修会の実施にあわせ、試行(実務)を行うことができた								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
地域性もあるのか支所単位毎に評価のバラつきが見られた。確立された制度として運用するためには職員間のバラつきをなくす必要があり、そのためにはかなりの時間を要すると感じた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
職員間において制度内容の熟知度に大きな乖離があることから、引き続き研修会及び試行を継続する								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
H22は試行段階であるので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 ただし、実際の運用にあたっては制度導入の目的をはっきり定め、取り組みを行うこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・年功序列、不要不急な人材などの悪しき状態打破のため、至急の構築を求める。</p> <p>・考課制度導入にあたり、その評価に対する考え方の基準作りとそれに合わせた研修の実施により、制度導入前の「地ならし」が必要なのではないか。評価方法の公正化・透明化をはかり、職員に不合理な待遇となるようなことが無いよう、慎重な計画が必要と思われる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	わかりやすい公表方法の調査・研究		体制コード	2-1-1-1				
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	長谷部俊一(323)				
取組時期	H21	調査・研究	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
<p>財政計画に基づき、実質公債費比率を推計。22年度からHP上で公表する「財政健全化判断比率」に将来推計も付記可能とした。</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
<p>「財政健全化判断比率」の公表の際に、単に判断比率の数値のみの公表に留まらず、実質公債費比率の将来推計を付記する。</p>								
平成22年度取組み内容(D)								
<p>市報11月号及びHPの財政情報(財政状況等一覧表)により財政健全化判断比率を公表。ただし、目標とした実質公債費比率の公表については、財政計画と年次別実績の乖離など、不透明な要素の割合が大きいため付記しなかった。</p> <p>なお、実施目標には掲げなかったが、新地方公会計制度に基づく財務4表のHP上の公表において概要版を作成するなどし、わかりやすい公表方法の検討を行った。</p>								
取組みについての成果(C)								
<p>新地方公会計制度に基づく財務4表について概要版を作成することができた。他の指数、財政状況の公表にも活用していきたい。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>目標とした実質公債費比率の公表を見合わせたため。</p>								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>情報のアウトラインが理解できる概要版については、わかりやすい公表に欠かせないものと考え、できるだけ付記、作成していきたい。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>HP上で公表している各情報について概要版又は説明情報の付記を行い、わかりやすい公表を心掛けたい。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>所管課評価に同じ。 また、現状の公表の仕方を他市町村と比較し、よりわかりやすい公表の仕方を検討すること。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・以前から見ると市報などに掲載される財政関係は、かなり解り易くなってきている。これについては評価していきたい。内部評価ではまだまだの様子なので解りやすい公表を期待します。</p> <p>・「財政計画と年次別実績の乖離など、不透明な要素の割合が大きい…」だけでは分からないので、説明が欲しい。</p> <p>・公表数値の整合性の確保(表示も含め)に配慮する必要があると思われる。その時々公表手法があっただけであるが、公表数値を見た市民や関係者が、誤解を招くことの無いようなものでなければ、結果として公表の意義が弱まることになってしまうのではないかと。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	補助事業の内容、金額、効果等の公表(2-3-1-2と重複)		体制コード	2-1-1-2		
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
補助金の今後の方針一覧をホームページで公表したほか、平成22年度補助金交付予定一覧の公表に向けて、準備を進めた。						
平成22年度中の実施目標(P)						
平成22年度補助金の交付予定を8月1日号の市報で公表し、市民に情報提供します。						
平成22年度取り組み内容(D)						
8月1日号の市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布により公表。併せて、ホームページにおいても一覧を公表した。						
取り組みについての成果(C)						
初めての実施であったが、公表後に市民からの問い合わせが3件あり、補助制度の内容及び適用の有無など、市民の行政に対する関心を上げられた。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおり公表を行えた。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
初めての取り組みであり、多くの市民から意見、問い合わせが来ることを想定したが少なかった。また、議会で一般質問が試みられるなど、一定の成果が得られた。						
平成23年度中の実施目標(P)						
引き続き、当初予算の交付予定について一覧により公表を行っていくとともに、新たに前年度の交付実績を取りまとめ、一覧として公表(ホームページ)を行っていく。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、取り組みに対する反応が少なかったと思われるので、内容や公表の仕方の工夫に努めること。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市民からの問い合わせ及び回答内容を公表してはいかがでしょうか。</p> <p>・補助金交付を公表した事の意義は大きく、今後の行政は変わっていくのではと期待するものです。一方市民からの反応が少なかった事が、公表の仕方に問題があるのではなく、行政に対して市民の関心が少ないような気がしてならない。市民が生活の中に市政を取り入れていない大きな問題があるような感じがする。もう少し分析し研究する必要があるのではないか。</p> <p>・判りやすい公表方法が必要と感じた。</p> <p>・補助金の効果を検証し、公表をしていく必要があるのではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成23年7月1日	所属長 平成23年7月1日	行革担当 平成23年7月19日	本部会議 平成23年8月1日	行革委員会 個別意見 有
取組内容	公表項目の拡大		体制コード	2-1-1-3	
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	長谷部俊一(323)	
取組時期	H21	調査	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)
	H22	検討・実施	H22	-	
	H23		H23	-	
	H24		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)					
<p>・新地方公会計制度に基づく「財務4表」を新たに公表。 【今後公表を検討する事項】 「財政事情(半期毎の執行状況)」「補正予算」</p>					
平成22年度中の実施目標(P)					
<p>【H22以降に新たに公表する項目】 「決算情報」「決算カード」「財政健全化判断比率」</p>					
平成22年度取り組み内容(D)					
<p>財政健全化判断比率について市報、HPともに公表した。 また、決算情報については市報で公表した。</p>					
取り組みについての成果(C)					
<p>公表に際しては、昨年度との比較を中心に分析も付記した。 中でも財政健全化判断比率については議会でも質問が多く、取り組みの重要性を認識できた。</p>					
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
特になし					
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)					
<p>担当者であってもわかりにくい内容が多く、公表項目の拡大以上にわかりやすい公表の重要性を認識した。</p>					
平成23年度中の実施目標(P)					
<p>照会の多い当初予算書、補正予算書についてもHP上で公表する。</p>					
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>所管課評価に同じ。 なお、平成23年度中の実施目標については、即時対応が可能であるので、速やかな実施に努めること。</p>					

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・公表についての体制づくりの努力は感じられるが、市民が行政に対してより多くの関心を持つことについて、市側の誘導意識が弱い。市民が行政そのものをもっと身近に感じられるにはどのような事をすればよいのか今後考えていく必要性を感じる。</p> <p>・公表する媒体としてウェブサイトを用いるのはいいが、そういったものを閲覧できない、いわゆる「情報弱者」との均衡を考慮しなければ、市役所自らがデジタルデバイドに拍車をかけることとなる。地域の特性を理解の上、公表手法に考慮が必要。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	印刷物を閲覧できる体制の整備		体制コード	2-1-1-4				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
手始めとして行革大綱、実施計画書について市報で周知して、本庁では政策推進課、各支所では地域振興課で閲覧できる体制をとりました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
体制を継続し、各課にも周知を図ります。								
平成22年度取り組み内容(D)								
本庁・支所での閲覧体制は継続した。 なお、各担当で所管する計画などについては、ホームページでの公表を行っている。								
取り組みについての成果(C)								
市民の情報取得手段の増加に努めた。 (根拠条例:情報公開条例第17条で情報提供との位置付けをしている。)								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
閲覧物としては増えていないが、ホームページ上での公表(閲覧)に努めている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
閲覧を常時可能とすることは当然であり、むしろ、各種計画などはすべてホームページで公開し、広く公表することが必要である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
各種計画等の閲覧は常時行うとともに、策定後は速やかにホームページで公表する。 また、各種計画を図書館に集め、常時閲覧できるようにコーナーを設置する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、ホームページでの計画の公表については、取り組みが進んでいないので、併せて推進するよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・公表についての体制づくりの努力は感じられるが、市民が行政に対してより多くの関心を持つことについて、市側の誘導意識が弱い。市民が行政そのものをもっと身近に感じられるにはどのような事をすればよいのか今後考えていく必要性を感じる。</p> <p>・公表する媒体としてウェブサイトを用いるのはいいが、そういったものを閲覧できない、いわゆる「情報弱者」との均衡を考慮しなければ、市役所自らがデジタルデバインドに拍車をかけることとなる。地域の特性を理解の上、公表手法に考慮が必要。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月20日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	口座振替制度の啓発・促進		体制コード	2-2-1-1				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一 内線211				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
市報5月号で口座振替の利用を呼びかける記事を掲載し、その周知を図った。また、長期にわたり振替不能の口座について整理を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
今後は、市報に加え、啓発のためのチラシやポスターを作成し、金融機関や公共施設に配布し、掲示等をお願いする。								
平成22年度取り組み内容(D)								
市報5月号に掲載の他、チラシ等の配布を行い口座振替の周知を図った。								
取り組みについての成果(C)								
振替不納口座の整理、年金特徴の増加により件数的には伸びないが、振替の成功率は上昇している。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
振替率の上昇により振替不納通知の発送にかかる経費、事務の軽減になった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
口座振替率が6割強のため、今後窓口納付の方の切り替えを推進に努める。								
平成23年度中の実施目標(P)								
市報、ホームページによる周知の他、チラシやポスターを作成し、金融機関や公共施設に配布し、掲示等をお願いする。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>各種税・使用料等の納期・引き落とし日・再引き落とし日の一覧表を配布する対応があってもいいのではないか。再振替までの各金融機関との密な連絡調整を今後も継続して行って欲しい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	口座振替の再振替		体制コード	2-2-1-2				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一 内線211				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年5月から実施している。								
平成22年度中の実施目標(P)								
継続して実施していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
継続して実施している。								
取り組みについての成果(C)								
すでに通常業務として定着している。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画通りに実施された。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
督促、通常口振との間のあわただしい時間の中で職員のがんばりで定着したと思う。								
平成23年度中の実施目標(P)								
通常業務として誤りをなくし、納税者との行き違いをなくす。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・再振替までの各金融機関との密な連絡調整を今後も継続して行って欲しい。</p> <p>・「督促、通常口振との間のあわただしい時間の中」の作業になるので、オンライン等による消し込みデータのやり取りなども今後検証していく必要があるのではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	市県民税の特別徴収の促進		体制コード	2-2-1-3				
所管	税務課市民税係		担当者・内線番号	今井雅仁(内線221)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度は、26事業所に訪問して特別徴収の依頼を行った。給与支払報告書の提出依頼を送付するときに依頼文を同封して呼びかけた。(4,800通)								
平成22年度中の実施目標(P)								
依頼文を作成し、協力可能と思われる事業所への郵送や個別訪問により配布し呼びかけていく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
平成22年度も、45事業所に訪問して特別徴収の依頼を行った。給与支払報告書の提出依頼を送付するときに依頼文を同封して呼びかけた。(4,800通)								
取り組みについての成果(C)								
訪問した45事業所のうち、8事業所が平成23年度から特別徴収へ変更								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
新潟県内でも同様の取り組みを実施しているが、効果が得にくい状況の中、特徴に変更した事業所が5社以上あったのは、良いと考える。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える。 現在、新潟県内にて個人住民税の特別徴収移行促進に向けた取組検討会を立ち上げ、効果的な取り組みを検討中。								
平成23年度中の実施目標(P)								
今後も同様の取り組みを継続								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、取り組みについての感想で「特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える」とあるので、平成23年度は工夫をしてPRするよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>取り組みについての感想に「特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える。」とあるが、特別徴収のメリットとは何か。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	コンビニ収納等の検討・実施		体制コード	2-2-1-4				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一 内線211				
取組時期	H21	調査・検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度中に、他市の状況、および所要経費について調査を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度実施に向けて、具体的な準備を進める。								
平成22年度取り組み内容(D)								
庁内の会議を行い、他市の状況、所要経費、費用対効果について検証し、本市においての24年度からの実施という検討結果を得た。								
取り組みについての成果(C)								
他市の状況、費用対効果と住民サービスについて考えさせられた。 結果は、予算化が出来なかったことから不十分なのかと思うが、他市でも行っていなかった納税者の側の効果の検証までできたので、考え方のベースはできたと思う。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
24年度からの実施も見込めないことから。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
費用対効果と住民サービスの向上について考えさせられた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
県、他市がコンビニ収納化されている中で、住民からの要望も多くなってきており、住民サービスの向上のためにも少しでも早く実施できるようお願いしていきたい。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取り組みは行われているので、所管課の評価のとおり、C評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
「費用対効果を検証」だけでは分からないので、その検証結果を示していただきたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	新潟県地方税徴収機構の活用		体制コード	2-2-1-5				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	高橋武志 内線213				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度は、困難案件38件について、引継ぎを行い、17.7%の収納率となった。								
平成22年度中の実施目標(P)								
引き続き連携・活用を図ることにより、困難事案の解決につなげていく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
市だけでは困難な事案について、新潟県と市町村が共同で滞納整理を行う。								
取り組みについての成果(C)								
平成22年度は、困難案件43件(継続21件、新規22件)について、引継ぎを行い、17.7%(継続14.9%、新規24.7%)の収納率となった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
高額滞納者で処理が困難な事案について新潟県地方税徴収機構で組織する「特別機動整理班」で対応し滞納整理を実施した。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
新潟県と管内の派遣職員が共同して行うことは、それぞれの職員のスキルアップに繋がり、今後の業務にも非常に役立つ。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き連携・活用を図り、困難事案の解決につなげていく。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
今後も機構の活用を推進すべきと思う。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月30日		平成23年7月1日		平成23年7月15日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		収納推進員の活用			体制コード		2-2-1-6				
所管		税務課収納対策室			担当者・内線番号		長 研一 内線211				
取組 時期	H21	実施		目 標 数 値	H21	-		成 果 数 値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23		
	H24				H24	-			H24		
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
平成21年5月から1名を増員したことにより、収納率向上につながっている。											
平成22年度中の実施目標(P)											
収納推進員を活用した、より効果的・効率的な徴収体制を検討していく。											
平成22年度取り組み内容(D)											
現年度催告の回数を増やし、収納推進員による臨戸訪問を増やした。											
取り組みについての成果(C)											
各税現年度分において、0.1パーセント程度の収納率の向上が見られた。											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
現年度滞納者が減少すれば、滞納繰越者の滞納額にも好影響を与える。											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
特に大きなトラブルも無く順調だったと思う。											
平成23年度中の実施目標(P)											
昨年度よりさらに、現年度催告の回数を増やし収納率の向上を目指したい。											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・計画的な納税相談機会の場はどのようになっているのか。</p> <p>・実態に即した行政の判断が大切なのは。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	市税現年度分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-7				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一	内線211			
取組時期	H21	-	目標数値	H21	98.0%	成果数値	H21	97.90%
	H22	-		H22	98.2%		H22	97.97%
	H23	-		H23	98.4%		H23	
	H24	-		H24	98.5%		H24	
	後期			収納率			収納率	
平成21年度取り組み内容(D)								
催告、滞納処分等。								
平成22年度中の実施目標(P)								
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があった。								
平成22年度取り組み内容(D)								
新たな滞納者を増やさないということで、現年度滞納者への早期対応を進めた。								
取り組みについての成果(C)								
景気低迷の中前年度を上回ることができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
目標値には少し届かなかったが、健闘していると思う。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
早期対応の効果が確認できたのでよかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
現年滞納者への催告回数を増やし、より早期対応を目指す。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
前年度以上の収納率を確保する取り組みを行っていることは理解しているが、目標数値に届かなかったため、C評価とした。 なお、他市町村との比較等、客観的な評価をしやすいような工夫もすること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。</p> <p>・実態に即した行政の判断が大切なのは。</p> <p>・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有		
取組内容	市税滞納繰越分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-8			
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一 内線211			
取組時期	H21	-	H21	20.0%	成果数値	H21	15.53%
	H22	-	H22	20.0%		H22	16.36%
	H23	-	H23	20.0%		H23	
	H24	-	H24	20.0%		H24	
	後期		収納率			収納率	
平成21年度取組み内容(D)							
催告、滞納処分等。							
平成22年度中の実施目標(P)							
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があった。							
平成22年度取組み内容(D)							
平成22年度においては、滞納処分として代表的な差押件数は172件を数えた。							
取組みについての成果(C)							
470万円ほどの換価額があった。							
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
滞納処分が増えると厳しい折衝が多くなるが、大きなトラブルも無く成果が上がったと思う。 ただ、納税不納となっている分についての処理が進んでいないため、なかなか収納率が上がってこない。							
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
財産調査の件数を拡大し滞納処分に続けたい。							
平成23年度中の実施目標(P)							
財産調査の範囲と回数を22年度の20パーセント増。							
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
積極的な取組みを行っていることは理解しているが、目標数値に届かなかったため、C評価とした。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・納税不能の処理について、進まない理由はなにか。</p> <p>・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。</p> <p>・実態に即した行政の判断が大切なのは。</p> <p>・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有		
取組内容	国保税現年度分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-9			
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一 内線211			
取組時期	H21	-	H21	91.5%	成果数値	H21	92.29%
	H22	-	H22	91.8%		H22	92.29%
	H23	-	H23	92.2%		H23	
	H24	-	H24	92.5%		H24	
	後期		収納率			収納率	
平成21年度取り組み内容(D)							
催告、滞納処分等。							
平成22年度中の実施目標(P)							
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があった。							
平成22年度取り組み内容(D)							
新たな滞納者を増やさないということで、現年度滞納者への早期対応を進めた。							
取り組みについての成果(C)							
景気低迷の中前年度と同様の収納率を確保することができた。							
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
目標値をクリアしているが、まだまだ余地があると思う。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
早期対応の効果が確認できたのでよかった。							
平成23年度中の実施目標(P)							
現年滞納者への催告回数を増やし、より早期対応を目指す。							
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。</p> <p>・実態に即した行政の判断が大切なのは。</p> <p>・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	国保税滞納繰越分収納率の数値目標		体制コード	2-2-1-10				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一 内線211				
取組時期	H21	-	目標数値	H21	20.0%	成果数値	H21	19.32%
	H22	-		H22	20.0%		H22	18.48%
	H23	-		H23	20.0%		H23	
	H24	-		H24	20.0%		H24	
	後期			収納率			収納率	
平成21年度取り組み内容(D)								
催告、滞納処分等。								
平成22年度中の実施目標(P)								
景気低迷の中ではあったが、一定程度の効果があった。								
平成22年度取り組み内容(D)								
平成22年度においては、滞納処分として代表的な差押件数は172件を数えた。								
取り組みについての成果(C)								
470万円ほどの換価額があった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
滞納処分が増えると厳しい折衝が多くなるが、大きなトラブルも無く成果が上がったと思う。ただ、納税不納となっている分についての処理が進んでいないため、なかなか収納率が上がってこない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
財産調査の幅をもう少し広げたかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
財産調査の範囲と回数を22年度の20パーセント増を目標。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
積極的な取り組みを行っていることは理解しているが、目標数値に届かなかったため、C評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・納税不能の処理について、進まない理由はなにか。</p> <p>・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。</p> <p>・実態に即した行政の判断が大切なのは。</p> <p>・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	使用料等見直し庁内検討組織の設置		体制コード	2-2-2-1				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
メンバーを選定し、ワーキング部会を設置していく。								
平成22年度取組み内容(D)								
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取組みを行わなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
負担金についての取組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しに向けた事前資料作成から取組みを進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、取組みについては、スケジュールを定めて計画的に取り組むこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有		
取組内容	使用料・手数料の洗出しとコストの算定		体制コード	2-2-2-2			
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)			
取組時期	H21	実施	H21	-	成果数値	H21	-
	H22		H22	-		H22	-
	H23		H23	-		H23	-
	H24		H24	-		H24	-
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)							
-							
平成22年度中の実施目標(P)							
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。							
平成22年度取り組み内容(D)							
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。							
取り組みについての成果(C)							
なし							
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取り組みを行わなかったため。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
負担金についての取り組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。							
平成23年度中の実施目標(P)							
見直しに向けた事前資料作成から取り組みを進める。							
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、取り組みについては、スケジュールを定めて計画的に取り組むこと。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	使用料・手数料算出基準の策定		体制コード	2-2-2-3				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。								
平成22年度取組み内容(D)								
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取組みを行わなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
負担金についての取組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しに向けた事前資料作成から取組みを進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、取組みについては、スケジュールを定めて計画的に取り組むこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	減免取扱いの適正化の検討		体制コード	2-2-2-5				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。								
平成22年度取組み内容(D)								
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取組みを行わなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
負担金についての取組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しに向けた事前資料作成から取組みを進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、減免については、特に詳細な現状把握を行う必要がある。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>補助金の見直しを急いだのに、使用料等の見直しが一切手をつけられていないのはどういう理由からか。先送りすればするほど、当時の事情や考え方を知る各市町村の職員は少なくなり、職員全体の数も少なくなることから、その調整も困難になると思われる。十分な検証・考査を経ずに画一的な結論となることのないよう、早急な取り組みを望む。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	ごみ収集カレンダーに有料広告を掲載		体制コード	2-2-3-1				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	百武 靖之(内線322)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
例年どおり各地区毎の広告枠について業者を選定し実施した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
現行のごみ収集カレンダーの有料広告については試行であり、有料広告の制度化の中で取り扱いを協議する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
例年どおり各地区の広告枠について業者を選定し実施した。								
取り組みについての成果(C)								
全地区のカレンダーに広告を掲載することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
全地区のカレンダーに広告を掲載することができたことによる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に広告審査委員会の開催や事務手続きが行われた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
要綱改正により、平成23年度より所管課において取り扱うこととなった。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・ごみ収集カレンダーに有料広告を掲載されているが、ゴミ袋等にも有料広告を載せ、環境保全の財源に充てることはできないものだろうか。</p> <p>・有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	広告媒体等の調査研究		体制コード	2-2-3-2				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	百武 靖之(内線322)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
関係各課と協議を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
広告収入の増収方法検討会により、広告媒体となるものについて検討をした。								
取り組みについての成果(C)								
有料広告掲載可能媒体の候補の抽出、方法の研究を行い、理解を深めることができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
検討会は立ち上げたが、具体的な作業を行うことができなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
今後は具体的な作業に着手していきたい。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き検討会で協議を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
検討会による取り組みにより、B評価とした。 なお、スケジュールを定め、計画的に取り組みを行うこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「具体的な作業が行えなかった。」とあるが、行えなかった原因の掘り下げが足りない。</p> <p>・有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	有料広告掲載要綱の改正		体制コード	2-2-3-3		
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	百武 靖之(内線322)		
取組時期	H21	検討	H21	-	H21	-
	H22	改正	H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)						
-						
平成22年度中の実施目標(P)						
上記検討内容が確定していないため、今後改めて改正に向けて検討していく。						
平成22年度取組み内容(D)						
広告収入の増収方法検討会において協議し要綱の改正を行った。						
取組みについての成果(C)						
スケジュールどおりに要綱改正が行われ、広告による収入増への道筋を付けることができた。						
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
スケジュールどおりに達成できたことによる。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
計画的に検討会や事務手続きが行われた。						
平成23年度中の実施目標(P)						
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月4日	平成23年7月6日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	新規広告媒体への広告掲載		体制コード	2-2-3-4				
所管	政策推進課 情報化推進室		担当者・内線番号	山田和浩 502				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
山北、朝日地区に設置してある告知端末機、TV自主放送の広告放送に係る取扱要綱を作成し、広告放送を実施。								
平成22年度中の実施目標(P)								
広告放送手数料の増額。								
平成22年度取組み内容(D)								
<p>機会を図りながら個別に周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンから告知端末について問い合わせがあった際に、広告媒体としての利用も可能であることを伝えた。 ・神林地区への事業拡大に伴い、かみはやし農協に対して広告放送が可能であることを伝えた。 								
取組みについての成果(C)								
<p>平成21年度広告収入 12,500円</p> <p>平成22年度広告収入 25,500円(決算見込)</p>								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
<p>広告放送開始の全体PRは特に行ってこなかった。</p> <p>個別対応だったものの、年間50件を超える放送依頼を受けることができた。</p>								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>広告放送は売り出し等が主なもので、個人商店の依頼はほとんどない。</p> <p>収入の大半を農協と量販店(イオン)が占めており、対象地区の小売形態から拡大は難しい点もある。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>告知放送で広告(有料)ができる旨をPRする。</p> <p>ただし、広告が主たる放送ではないため、とりあえず年数回のPRにとどめる。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	未利用市有地を広告看板設置に貸し出しを検討		体制コード	2-2-3-5				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄・325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
看板設置の適地を選定しリストを作成し、年1回公表する。								
平成22年度取組み内容(D)								
看板設置の適地を選定しリストを作成した。								
取組みについての成果(C)								
リスト作成により適地と思われる財産を概ね把握することができ、有効利用のために整理された資産情報を保有することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
公表に至らなかったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
現地調査による現状把握がしきれておらず、より詳細で正確な資産情報が必要である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
現地調査等の実施、公表事項、手段など検討をおこなう。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
平成22年度中の実施目標である公表ができなかったため、所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	その他広告媒体利用の検討		体制コード	2-2-3-6				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	百武 靖之(内線322)				
取組 時期	H21	目標 数値	H21	-	成果 数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
関係各課と協議を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
未実施								
取り組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い				
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
未実施のため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成23年度中の実施目標(P)								
政策推進課及び関係課との協議を行い今後検討していく。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い				
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、スケジュールを定め、計画的に取り組むこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者 平成23年7月1日	所属長 平成23年7月1日	行革担当 平成23年7月22日	本部会議 平成23年8月1日	行革委員会 個別意見 有		
取組内容		広告収入の数値目標		体制コード	2-2-3-7			
所管		財政課 契約検査室		担当者・内線番号	百武 靖之(内線322)			
取組時期	H21	-	目標数値	H21	290千円	成果数値	H21	328千円
	H22	-		H22	350千円		H22	350千円
	H23	-		H23	400千円		H23	
	H24	-		H24	450千円		H24	
	後期			広告収入			広告収入	
平成21年度取組み内容(D)								
ごみカレンダー分の広告収入。								
平成22年度中の実施目標(P)								
328千円								
平成22年度取組み内容(D)								
ごみカレンダー分の広告収入(H22決算額350千円)								
取組みについての成果(C)								
ごみカレンダー分の目標額(H22決算額350千円)を達成できた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
ごみカレンダー分の目標額を達成できたことによる。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に広告審査委員会や事務手続きが行われた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
400千円								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年7月1日		平成23年7月1日		平成23年7月22日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		財産台帳の再整備			体制コード		2-2-4-1				
所管		財政課			担当者・内線番号		須貝民雄・325				
取組時期	H21	実施		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23		
	H24				H24	-			H24		
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
財産台帳の内容の調査を行い、公有財産管理システムとして電算化の導入に着手した。											
平成22年度中の実施目標(P)											
システム搭載のデータ量を増やすため、法務局での調査等を実施する。											
平成22年度取り組み内容(D)											
法務局データや課税台帳データとの不一致調査また現地調査を行い、合併前の決算ベースで財産台帳のデータ化を実施した。											
取り組みについての成果(C)											
財産台帳と法務局データ等の不一致を発見することができ、財産台帳の緻密化に取り組む必要があることが分かった。GISを利用し地図データ閲覧が可能となり、財産管理に関する事務処理のスピード化につながった。											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画どおり取り組みをおこなった。また、GIS地図データ閲覧システムの導入により事務処理の効率が上がった。											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
緊急雇用創出事業を活用し、業務委託等により、集中的に作業を行ったことで取り組みが適切に行われた。											
平成23年度中の実施目標(P)											
不一致となった財産台帳データの調査等を実施する。											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・公有財産管理システムで管理するデータに、備品等のデータはあるか。</p> <p>・公有財産には備品等も含まれてくると思うので、備品等の状況についても記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
		平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有		
取組内容		公有財産の取扱い方針・基準の策定		体制コード	2-2-4-2			
所管		財政課		担当者・内線番号	須貝民雄・325			
取組時期	H21	策定	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
他市の指針等の調査を実施。								
平成22年度中の実施目標(P)								
財産台帳の整備完了後策定したいため、他市の指針を参考に準備を進める。								
平成22年度取り組み内容(D)								
未実施								
取り組みについての成果(C)								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
財産台帳と法務局データ等の不一致が発見され、ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取り組む必要があり取り組めなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取り組む必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取り組み、作業の進行状況に応じ、公有財産の取扱い方針・基準の策定に向け準備を進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
未実施ということで、本来はD評価だが、財産台帳の緻密化を優先し取り組む必要があったため、所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価と同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・公有財産管理システムで管理するデータに、備品等のデータはあるか。</p> <p>・公有財産には備品等も含まれてくると思うので、備品等の状況についても記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	遊休資産の調査		体制コード	2-2-4-3				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄・325				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
財産台帳の再整備に合わせて、一部遊休資産・売却資産の洗い出しに着手した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
売却可能な遊休資産を調査しリストを作成する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却可能な資産のリストを作成した。								
取り組みについての成果(C)								
リスト作成により売却可能な資産を把握することができ、売却に向け整理された資産情報を保有することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおり取り組みをおこなった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
適正な価格を把握するため、価格評価を随時見直す。また詳細な物件情報の収集を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>売却可能な資産とは、どの程度まで分類しているのでしょうか。(不動産のほか事務機器や什器備品等、十分に精査されていますか。)詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	遊休財産の有効活用の検討		体制コード	2-2-4-4				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄・325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23		
	H24		H24	-		H24		
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
売却不可能な土地を選定し遊休財産としての有効活用を検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却不可能な土地の選定は特に行っていない。貸付の申請のあるものについては貸付を実施した。								
取り組みについての成果(C)								
新規貸付件数16件 H22年度土地貸付収入307,290円								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
売却を不可能とする理由が不明確であるが、土地の選定をおこなっていない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
普通財産は売却不可能な土地はないと考える。売却を不可能とする理由を明らかにし土地の選定を行うためには、詳細な現地調査等を実施する必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
財産台帳の緻密化、現地調査等に取り組み、財産台帳整備完了後に遊休財産の選定を進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、現地調査等による検討の結果として、売却の促進等、財産の活用(処分)を図ること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
売却不可能な土地とは、どのようなものでしょうか。詳細が分かるように記載願いたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	売却処分地の選定		体制コード	2-2-4-5				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄・325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		選定	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
財産台帳の再整備に合わせて、一部遊休資産・売却資産の洗い出しに着手した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
宅地(見込地含む)を中心に選定作業を進め、売却処分地のリストを作成する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却可能な資産のリストを作成した。								
取り組みについての成果(C)								
リスト作成により売却可能な資産を把握することができ、売却に向け整理された資産情報を保有することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画どおり取り組みをおこなった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
適正な価格を把握するため、価格評価を随時見直す。また詳細な物件情報の収集を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
売却可能な資産リストは公表されていますか。詳細が分かるように記載願いたい。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	売却処分の実施		体制コード	2-2-4-6				
所管	財政課		担当者・内線番号	須貝民雄・325				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		3%	H22	0.08
	H23			H23		5%	H23	
	H24			H24		10%	H24	
	後期			処分可能な遊休資産の売却数		処分可能な遊休資産の売却数		
平成21年度取り組み内容(D)								
用途廃止を決定した財産の売却。 インターネットを利用した公有財産の売却。								
平成22年度中の実施目標(P)								
売却可能地のリストを作成し市民への広報を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
売却可能地のリストを作成し、売却の求め申請があったものについて売却を行った。 法定外公共物が用途廃止となった土地については、速やかに売却を行った。 不用となった車両はホームページにより公告を行い売却を図った。								
取り組みについての成果(C)								
売却状況 土地(売却可能選定地25筆) 2件 10,264,038円 土地(他事業用地) 3件 34,680,348円 土地(法定外用途廃止) 7件 1,313,226円 建物 1件 539,762円 車両 12台 575,350円								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
売却可能地のリスト広報が実施できなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
売却可能な動産については、ホームページで公告を行い入札を実施する。 売却可能地リストの不動産の詳細な物件情報等を把握し、公表事項、手段など検討をおこなう。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
平成22年度中の実施目標である「売却可能地のリストを作成し市民への広報」が行われなかったため、所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>「売却処分の実施」とありますが、その評価はどのような算定根拠をもとにしていますか。詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月30日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	農業振興地域の見直し		体制コード	2-2-5-3				
所管	農林水産課 農業振興室		担当者・内線番号	加藤 泰(内線345)				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
農業振興地域整備計画の見直し・策定に向けて基礎資料のデータ収集及び調査資料の作成を依頼。								
平成22年度中の実施目標(P)								
新村上市としての農業振興整備計画の策定を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
旧市町村毎に策定されていた5つの農業振興整備計画を統合するとともに、平成21年度実施した基礎調査を基に農業振興整備計画の見直しを行った。								
取り組みについての成果(C)								
平成23年3月末をもって、農業振興整備計画の見直し作業が終了予定であったが、県との事前相談が長引いているため平成22年度中の見直し作業が完了していない。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
新村上市の農業振興整備計画の統合・見直しを平成21、22年度の2ヶ年で完了させる予定であったが、完了していないため個別の農用地区域の変更に対応できない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
農業振興整備計画の統合・見直しを進めるための準備・認識不足があったこと。また、担当者が見直しを始めてからの2ヶ年で3人が交代するなどそれぞれの担当者が制度の内容等を理解するための時間を要したことが遅れた原因である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
農業振興整備計画の見直しの完了。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
予定どおり事業が完了しなかったため、所管課の評価のとおり、C評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>担当者の交代(2年で3人)との反省があったが、このようなことが見直し作業の遅れの一因であることは、残念である。人事異動の配慮があっても良かったのではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月22日	平成23年6月23日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	用途地域の見直し		体制コード	2-2-5-4				
所管	都市整備課計画室		担当者・内線番号	大西敏・512				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
用途地域の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議等を行い計画案を作成する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
用途地域の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議等を行い計画案を作成。								
取り組みについての成果(C)								
都市計画審議会で作業状況の報告を行った。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
概ね予定通りの取り組みができた								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、都市計画審議会については、会議の内容や結果などの公表が行われておらず不透明なため、「計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施」について、十分な説明を実施すること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・用途地域の見直しをされているが、どの地域でもこれまで市街地の外に商業施設が移り、市街地の商店街にシャッター通りが広がってしまった。現在国の施策としてシビックコアーが叫ばれ、商店を町の中に呼び戻す方向に動いている。郊外に用途を広げるとどのような町になっていくのかをしっかりと見極め、合わせて村上市らしい景観が確立される用途の見直しをしなければならない。また、景観条例化などを合わせて地域住民との意見交換や説明をやっていく必要性を強く感じる。</p> <p>・合併に伴い各種事業・計画の見直しを行う場合は、対象範囲も広域となることなどから、その事務手続きなどできる限り公表しながら進めることが、その後の計画推進をスムーズに行う重要な要素になるのではないか。説明会なども、開催日や時間の設定など、関係者の立場に立った設定を考慮してほしい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月22日	平成23年6月23日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	都市計画事業の見直し		体制コード	2-2-5-5				
所管	都市整備課計画室		担当者・内線番号	大西敏・512				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
都市計画マスタープラン策定に合わせ、都市計画事業の見直し方針の検討を行った。又平成22年度計画見直し業務委託の発注準備を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
都市計画の見直し業務委託を発注し、関係機関との協議、土地利用調整会議等を行い計画案を作成。								
取り組みについての成果(C)								
都市計画審議会で作業状況の報告を行った。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
概ね予定通りの取り組みができた								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、都市計画審議会については、会議の内容や結果などの公表が行われておらず不透明なため、「計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施」について、十分な説明を実施すること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>合併に伴い各種事業・計画の見直しを行う場合は、対象範囲も広域となることなどから、その事務手続きなどできる限り公表しながら進めることが、その後の計画推進をスムーズに行う重要な要素になるのではないか。説明会なども、開催日や時間の設定など、関係者の立場に立った設定を考慮してほしい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月20日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	都市計画税の課税区域等の見直し		体制コード	2-2-5-6				
所管	資産税係		担当者・内線番号	浅野 宏 内線226				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
都市計画税検討プロジェクトにより全庁的に検討を進めた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成22年度中に市としての方針を決定する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
都市計画税検討プロジェクトにより全庁的に検討し方針を決定する。								
取り組みについての成果(C)								
都市計画税検討プロジェクトで検討し、庁内の検討組織でも検討した結果、都市計画税は廃止とした。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
検討プロジェクトで慎重な検討が行われ結論を出したことは評価できる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成22年度評価(行革担当)(C)								
			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおり結論を出せたので、B評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	個別の補助金交付要綱の制定		体制コード	2-3-1-1				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	制定	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
担当課に指示をし、2件を残して制定されました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
残りの2件を策定します。また、新規補助金についてもすべて制定します。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「補助金等に関する基本指針」及び「補助金等交付基準」を超える補助金交付を行う事業については、その補助金事業の必要性、効果を明確にしたうえで、行財政改革本部会議に諮って方針を決定した。								
取り組みについての成果(C)								
平成21年度との当初予算比較で、交付件数 18件、補助金額4,600万8千円増となっている。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
補助金交付事業の制定、又は改正にあたっては、交付基準に則って行うことが認識されている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
年度による国県補助事業の取り組みによって補助金額の増減はあるものの、補助金等交付基準による方針が意識づけられてきている。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き、「補助金等に関する基本指針」及び「補助金等交付基準」による方針をもって判断する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有
取組内容	補助事業の内容、金額、効果等の公表(2-1-1-2と重複)		体制コード	2-3-1-2	
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)	
取組時期	H21	実施	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)
	H22		H22	-	
	H23		H23	-	
	H24		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)					
補助金の今後の方針一覧をホームページで公表したほか、平成22年度補助金交付予定一覧の公表(市報は8月1日号)に向けて、準備を進めました。					
平成22年度中の実施目標(P)					
平成22年度補助金の交付予定を8月1日号の市報で公表し、市民に情報提供します。					
平成22年度取組み内容(D)					
8月1日号の市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布により公表。併せて、ホームページにおいても一覧を公表した。					
取組みについての成果(C)					
初めての実施であったが、公表後に市民からの問い合わせが3件あり、補助制度の内容及び適用の有無など、市民の行政に対する関心を上げられた。					
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
予定どおり公表を行えた。					
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)					
初めての取組みであり、多くの市民から意見、問い合わせが来ることを想定したが少なかった。					
平成23年度中の実施目標(P)					
引き続き、当初予算の交付予定について一覧により公表を行っていくとともに、新たに前年度の交付実績を取りまとめ、一覧として公表(ホームページ)を行っていく。					
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、取組みに対する反応が少なかったと思われるので、内容や公表の仕方の工夫に努めること。					

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
補助金の効果測定の基準づくりも併せて取り組むべきではないか。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	負担金の見直し		体制コード	2-3-1-3				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	見直し	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
<p>全国の先進的取り組み事例についてホームページで研究する程度にとどまり、見直しに着手できませんでした。平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、研究・構築することとしました。</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
<p>財政改革ワーキング部会で見直しを行います。</p>								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>「財政改革ワーキング部会」を設置し、見直しに向け、負担金を多く所管している課を対象に内容ヒアリングを行うとともに、すべての負担金について内容確認の調査を行った。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>各担当で負担金の内容を確認し、その必要性を改めて検証することで事務事業の改善が図られる。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>見直しに向けた現状の内容把握等を行ったものの、実際の見直しまで進められなかった。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>今後の見直しの具体的方針や検証制度の構築へつなげていくことが課題である。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>見直しの具体的方針及び検証制度の構築を進める。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>所管課評価に同じ。 なお、検討にあたっては、期限を定めて結論を出すように努めること。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
見直しを取り組みにあげているのに、見直せなかったのは問題である。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	検証する制度の構築		体制コード	2-3-1-4				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	研究	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	創設・実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、研究・構築することとしました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
財政改革ワーキング部会で研究します。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「財政改革ワーキング部会」を設置し、見直しに向け、負担金を多く所管している課を対象に内容ヒアリングを行うとともに、すべての負担金について内容確認の調査を行った。								
取り組みについての成果(C)								
各担当で負担金の内容を確認し、その必要性を改めて検証することで事務事業の改善が図られる。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
見直しに向けた現状の内容把握等を行ったものの、実際に見直しまで進められなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
今後の見直しの具体的方針や検証制度の構築へつなげていくことが課題である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
見直しの具体的方針及び検証制度の構築を進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、検討にあたっては、期限を定めて結論を出すように努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>検証する制度の構築とはなにか。例えば5年おきに負担金を見直す場合の検証方法といったことか。詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者 平成23年7月1日	所属長 平成23年7月1日	行革担当 平成23年7月22日	本部会議 平成23年8月1日	行革委員会 個別意見 有		
取組内容		「業務仕様書・業務執行状況」の点検		体制コード	2-3-2-1			
所管		財政課 契約検査室		担当者・内線番号	百武 靖之(内線322)			
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
準備契約・長期継続契約の事務の具体的な検討を進める中で、仕様書の考え方の統一化を図る。								
平成22年度取り組み内容(D)								
入札制度の一部改正は実施したが、委託業務の仕様書まで見直しができなかった。								
取り組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取り組みが行われていない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成23年度中の実施目標(P)								
準備契約・長期継続契約の事務の具体的な検討を進める中で、仕様書の考え方の統一化を図る。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、取り組みが遅れているため、早急な実施を進めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務全体の仕様書を定めるということか。 ・業務執行状況の点検とは。 ・詳細が分かるよう記載願いたい。 		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	「経費の節減・業務の効率化」の検討・実施		体制コード	2-3-2-2				
所管	財政課 契約検査室		担当者・内線番号	百武 靖之(内線322)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
業務仕様書の検討を進める中で、積算書の考え方の統一化を図り、適正な価格設定となるようにする。								
平成22年度取り組み内容(D)								
入札制度の一部改正は実施したが、委託業務の積算書の考え方の統一化まで見直しができなかった。								
取り組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
取り組みが行われていない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成23年度中の実施目標(P)								
業務仕様書の検討を考える中で、積算書の考え方の統一化を図り、適正な価格設定となるようにする。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。 なお、取り組みが遅れているため、早急な実施を進めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・具体的な委託業務の想定は、 ・詳細が分かるよう記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	公用車必要台数の調査		体制コード	2-3-3-1		
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	長谷部俊一(323)		
取組時期	H21	調査	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	2台移管
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
公用車の稼働率(時間帯、時間等)を月別に調査した。						
平成22年度中の実施目標(P)						
稼働率の低い分散管理車両を、有効活用可能な集中管理車両(総務課管理)へ移管。						
平成22年度取り組み内容(D)						
公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施している。その調査内容をもとに公用車リース料について当初予算査定を行った。						
取り組みについての成果(C)						
稼働率の低い分散管理車両2台を、有効活用可能な集中管理車両(総務課管理)へ移管した。また、使用状況が一目瞭然となることからスムーズに公用車リース料の予算査定を行うことができた。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
特になし						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
各課の分散管理車両については、職員ポータル上で予約入力し、更に有効活用を図ることにより公用車の必要台数を削減することは可能と思われる。これには各課職員の十分な理解が不可欠となる。						
平成23年度中の実施目標(P)						
公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施する。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>職員ポータルシステムなるものがあるのならば、同一方面出張の場合の相乗りや出張人員削減など、その活用により経費の削減が可能なものが見出せるはず。公用車の乗車濃度も検証すべき。(ただし、これも職員の意識改革が必須)</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	公用車リースと購入経費の比較検討・実施		体制コード	2-3-3-2				
所管	財政課財務係		担当者・内線番号	長谷部俊一(323)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>公用車の稼働率は総じて高く、メンテナンス等や経費の平準化についても考慮した。また、車両購入に対しての特定財源(補助金)は皆無である状況から、一部特殊車両を除いては車両リースを基本として予算査定にあたった。</p>								
取り組みについての成果(C)								
2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせスムーズな予算査定に役立った。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
特になし								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>車両リースとすることにより、購入に比べて導入基準が甘くなることのないように、2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせて予算査定を実施していきたい。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
なし。(同様の方針で予算査定を実施)								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>職員ポータルシステムなるものがあるのならば、同一方面出張の場合の相乗りや出張人員削減など、その活用により経費の削減が可能なものが見出せるはず。公用車の乗車濃度も検証すべき。(ただし、これも職員の意識改革が必須)</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会
	平成23年6月20日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有
取組内容	パソコン必要台数等の調査		体制コード	2-3-3-3	
所管	政策推進課 情報化推進室		担当者・内線番号	山田和浩 502	
取組時期	H21	調査	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)
	H22		H22	-	
	H23		H23	-	
	H24		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)					
<p>現有管理PCの台数の把握を行った。 今後の退職等による職員の減員と機器更新期間との調整を行い、次年度の更新台数を決定した。</p>					
平成22年度中の実施目標(P)					
<p>22年度の更新台数をまとめ、予算化のもと機器更新を行う。</p>					
平成22年度取り組み内容(D)					
<p>リース終了に伴うパソコンの入替 170台 財務会計電子決裁システム導入に伴う施設(学校、保育園など)へのパソコン増設 60台</p>					
取り組みについての成果(C)					
<p>古いパソコンの入替により事務効率が向上した。 今までパソコンが不足していた施設へ追加配布ができた。</p>					
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>必要な場所(人)に必要な台数を配布できた。</p>					
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)					
<p>職員が減ることにより管理台数が減ると思っていたが、臨時職員の増加や端末が別に必要になるシステムが追加になることにより、あまり減っていない。</p>					
平成23年度中の実施目標(P)					
<p>引き続き、必要台数を調査しながら毎年の入替台数に反映させていく。</p>					
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>所管課評価に同じ。</p>					

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>パソコンの必要台数を積算する上で、端末となるマシンを法的に別々にする必要があるシステムは少ないはず。まず最初に、トータルシステムとして成立・導入できるかどうかを、市として独自に検証するのが先ではないか。臨時職員全員がマシンを保持すべきなのかも検証する必要があるし、マシンのスペックも全ての職員が高機能でなくとも業務遂行は可能であるはず。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月15日	平成23年6月15日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	村上浄水場の包括した民間委託の 検討・実施		体制コード	2-3-4-1				
所管	水道局 管理業務室		担当者・内線番号	三鍋正人・231				
取組 時期	H21	検討	目標 数値	H21	-	成果 数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成22年度運転開始する新村上浄水場の運転管理、施設監視及び維持管理業務を包括して1社に委託することとし、債務負担行為により指名競争入札、業者選定を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
村上浄水場の包括的委託は継続し、他施設において実施可能か検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
村上浄水場の包括的業務委託を単年度の委託期間で実施した。 平成23年度の長期継続契約に向け、債務負担行為により指名競争入札、業者選定を行った。								
取り組みについての成果(C)								
管理業務等を包括的に1社に委託することにより責任の明確化、緊急時の即時対応が図られている。 施設管理職員の負担軽減が図られた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
委託業者の責任の明確化、施設管理職員の負担軽減が図られている。 長期継続契約への移行により、長期的に安定的な契約ができることから、事務の簡素化、効率化が図られ、また、入札の競争性の向上により契約金額の抑制が図られた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし								
平成23年度中の実施目標(P)								
山北地区簡易水道施設15箇所の施設管理業務を旧山北町時代から1社特命随意契約で委託してきているが、長期継続契約へ、また指名競争入札の実施に向けて研究、協議していく。 他地区の施設について、直営で管理しているところもあることから、アウトソーシング可能か引き続き検討していく。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお「他地区の施設について、直営で管理しているところもあることから、アウトソーシング可能か引き続き検討」は、期限を定めて検討を行うよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成23年6月15日	平成23年6月15日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無		
取組内容	効率的な業務委託の検討・実施		体制コード	2-3-4-2			
所管	水道局 管理業務室		担当者・内線番号	三鍋正人・231			
取組時期	H21	目標数値	H21	1.0%	成果数値	H21	1.6%
	H22		H22	2.0%		H22	2.0%
	H23		H23	3.0%		H23	
	H24		H24	4.0%		H24	
	後期		委託料縮減の数値目標			委託料縮減の数値目標	
平成21年度取り組み内容(D)							
平成23年度の機構改革に向けた本庁、支所の業務量の検討を行った際に、同一業務の集中一括発注の検討を行った。神林地区において、これまで職員が直営で行ってきた簡水施設の保守点検業務を効率的な民間委託を実施した。							
平成22年度中の実施目標(P)							
引き続き効率的な業務委託を検討・実施する。							
平成22年度取り組み内容(D)							
平成23年度の機構改革に向けて本庁、支所の業務整理を行った。支所職員の業務負担軽減を図るために支所業務の内、契約業務等について本庁に集約することとした。 今年度は、平成23年度の契約に向け、準備を行った。 同一業務の平成23年度本庁集中一括発注に向けて準備を行った。							
取り組みについての成果(C)							
平成23年度当初の煩雑な契約業務を本庁に集約したため、支所職員の業務負担軽減となっている。							
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
業務委託を本庁に集約することで支所職員の負担軽減と業務委託の効率化が図られた。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
支所において水道業務を担当する建設水道課建設管理室職員は、水道業務のほかに下水道業務、建設業務を担当しており、下水、建設部門においても業務見直しの同一歩調を取っていただければ、近い将来の支所35人体制に向けた支所業務負担の軽減が一層図っていけると思う。							
平成23年度中の実施目標(P)							
契約業務の本庁集約について検証を行い、引き続き効率的な業務委託の在り方を検討していく。 検針から収納に至るまでの料金に関する一連の業務を包括的に委託している全国の先進事例を研究していきたい。							
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月16日	平成23年6月17日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	産業等活性化支援補助制度の創設		体制コード	2-3-5-1				
所管	商工観光課商工振興係		担当者・内線番号	本間研二(内線353)				
取組時期	H21	創設・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
産業見本市等出展事業費補助金 1件 82千円、商店街賑わい創出支援事業 1件 300千円 産業人材育成支援事業 3件 100円千円 3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人)								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPRしていく。								
平成22年度取組み内容(D)								
・産業見本市等出展事業費補助金2件142千円 ・産業元気づくり事業補助金3件176千円 ・商店街賑わい創出支援事業1件300千円 ・産業人材育成支援事業1件60千円(村上3企業6人)								
取組みについての成果(C)								
・新たに産業元気づくり事業(新商品開発)への取組みが3件と増えた。 ・産業見本市等出展事業や産業人材育成事業を活用する事業所が増えてきた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
・実施2箇年目として、申請する事業所増えてきた。 ・産業元気づくり事業において、新商品開発されたものが実際店頭に並んでいる。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
従来、申請期限を10月末にしていたが、要綱改正により、特別な事情な場合であれば年度末までの受付を可にしたことで、より活用しやすい補助制度となった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成24年度事業)をPRしていく。なおより使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れて進めていく。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 「より使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れて進めていく」とあるが、その際には、これまでの効果・実績を十分検証し、安易な改正とならないよう留意すること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>使いやすい・利用しやすい制度の意味にはいろいろあるが、対象が中小零細企業や個人商店などであることからすれば、申請から決定、交付までできる限り短期間であることも、非常に有意義と思われる。県や関係機関の補助とは一線を画した、より意義ある制度としてほしい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	地域づくり支援補助制度の創設		体制コード	2-3-5-2				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		創設・実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23		
	H24		H24	-		H24		
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
自治振興室において検討していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・平成24年度から交付する「まちづくり交付金」に包含することで見直しを行った。								
取り組みについての成果(C)								
・補助金制度そのものの変更								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・提案(公募)型補助金制度の必要性はあると考えるが、今後の少子高齢化や地域コミュニティの育成を考えた場合、地域の特色を生かし切る交付金としての考え方がよりベターであるとの認識に立ち包含したものである。また、実施年度については、地域まちづくり組織の設置について1年後としたため、結果として1年延びた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・公金としての活用を考えた場合、一生懸命事業を行うところとそうでないところも、一括交付する交付金はいかなものかと異論もあった。しかし、あくまでも交付金は、地域活性化の種火であり、事業費すべてをまかなうことを想定したものではない。今後とも市担当職員が地元を誘導したり、協働の意味を周知したりして地域住民が主役のまちづくりを行っていけると考えている。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・特になし								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
「まちづくり交付金」に包含すると判断したということなので、所管課の評価のとおり、B評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
まちづくり交付金の活用結果とその取り組み内容を一覧表示した結果コンテストを市民に配布してみるのも活性化につながるのではないのでしょうか。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	地域コミュニティ活動助成金制度の創設		体制コード	2-3-5-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		創設	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
自治振興室において検討していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・助成金から地域住民が自由な発想で自由に活用できる交付金として再検討を行った。								
取り組みについての成果(C)								
・各地域振興課の意見を取り入れながら、交付金の積算基準づくりを行った。また、積算基準については、人口や行政区の数だけでなく、生活不便地域を考慮し、加算額方式も取り入れたものである。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・交付金等については、市民協働のまちづくりを今後の本市の重要課題と捉え、条例制定に向けた検討を行い、平成23年3月28日に「村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例」を制定した。なお、交付金の交付に関する施行日は平成24年4月1日とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・当初計画では平成23年度からの実施で計画したが、村上地区の分館制度廃止に伴う分館長等の任期の理由等により、1年実施を延長したものである。結果的に、地域住民の不安の解消に繋がったものと思われる。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・交付金の使用については、公金の性格を鑑みガイドラインを策定し、均衡ある交付金の利用の促進に寄与する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
平成23年度の実施が遅れた点でいえばC評価となるが、地域審議会等での「地域まちづくり組織」の設立に向けた議論もなかなか進まなかった経緯から、B評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
重要課題とあげる割には、遅々としている感が拭えない。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	「待遇マニュアル」の作成		体制コード	3-1-1-1		
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	-
	H24		H24	-	H24	-
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
平成21年9月に市民窓口サービス推進会議(事務局:市民課)が設置され、市民窓口サービスの向上に向けた取り組みについて協議している。この会議の中で待遇マニュアルについても併せて作成することを計画している。						
平成22年度中の実施目標(P)						
市民窓口サービス推進会議にて計画されている待遇マニュアル作成の具現化を図る。						
平成22年度取り組み内容(D)						
年度後半に予定していたが、突発業務(震災関連)により実施できず						
取り組みについての成果(C)						
未実施のため成果等なし						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
未実施のため						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
職員は新採用職員研修や階層別研修などを受講してきていることから、待遇マニュアルが必要なのか疑問に感じる。各職場において管理職の管理の下に必要なアドバイスをすることや、自己研鑽によりカバーしていくものと思う。						
平成23年度中の実施目標(P)						
次回実施時期を再検討						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<ul style="list-style-type: none"> ・市職員は、サービス業に従事しているという意識が欠如しているのではないだろうか。 ・最低限窓口で市民に接する機会のある職員には外部研修を受講する必要があるのではないか。 ・接遇マニュアルが必要かどうかはともかく、現在の本庁職員の接遇のあり方を疑問視する意見が多いことは、従来実施の研修では不十分だという裏返しではないか。なぜ行革の取り組み項目に一項目起こして出てきているのかということも考慮のうえ、対策を講じてほしい。 ・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。接遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。 ・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。 		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	役職に応じた職員研修の実施		体制コード	3-1-1-2				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
市町村職員総合事務組合が主催する階層別研修を主に職員を受講させた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
計画に沿い、今後も受講させる。								
平成22年度取り組み内容(D)								
予定どおり研修受講させた								
取り組みについての成果(C)								
研修受講により、職員個人のスキルアップが図られ、業務遂行に反映されているものと思われる								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおりであることから								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
合併前の各市町村の考え方により受講対象者の年齢等にバラつきがある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
前年同様、階層別研修の受講により対応								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、合併による影響を解消するためには計画以上の実施の検討も必要。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。接遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。</p> <p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	民間企業等、外部研修制度の検討		体制コード	3-1-1-3				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	結論		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
作成予定としている「待遇マニュアル」の内容をふまえ検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
「待遇マニュアル」の作成にまで至らなかったことから実取組なし								
取組みについての成果(C)								
未実施であることから成果なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画に対し未実施であるため								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
800人超の職員数で、複数の職種が存在する中で、どの職場のどのような職員が外部研修を受け、どのような効果をもたらすのか不明瞭な状態での検討はいかなものかと感じる								
平成23年度中の実施目標(P)								
現状とこれからの職員数の動向等をふまえ、当面の間実施しないという方向で検討する								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課の評価のとおり、D評価とした。 なお、職員の能力向上、意識改革として位置付けているものであることを踏まえて検討すること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市職員は、サービス業に従事しているという意識が欠如しているのではないだろうか。</p> <p>・最低限窓口で市民に接する機会のある職員には外部研修を受講する必要があるのではないか。</p> <p>・「外部研修制度」の目的意義は何なのかをしっかりと見極め、本当に必要か否かを検討すればよいと思う。職員数の動向はあまり考える必要はないと思う。</p> <p>・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。待遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。</p> <p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	接遇に対する職員の自己評価の実施		体制コード	3-1-1-4				
所管	総務課人事係		担当者・内線番号	太田秀哉・318				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
作成予定としている「接遇マニュアル」に基づき、平成23年度に実施する。								
平成22年度取組み内容(D)								
特になし								
取組みについての成果(C)								
未実施のため成果なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い				
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
計画に対して未実施のため								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
未実施のため特になし								
平成23年度中の実施目標(P)								
「接遇マニュアル」作成にまで至らなかったことから、未定である								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い				
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課の評価のとおり、D評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。接遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。</p> <p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	接遇に対する市民アンケートの実施		体制コード	3-1-1-5				
所管	総務課 総務・危機管理室		担当者・内線番号	川村勇治(内線313)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	96%	
	H23		実施	H23		80%	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			アンケート目標		アンケート目標		
平成21年度取り組み内容(D)								
市民窓口サービス推進会議(事務局:市民課)において平成22年度中に実施予定。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市民の求める窓口サービスについて、アンケートを実施し、サービス向上に向けた協議を進めることとした。								
平成22年度取り組み内容(D)								
市民窓口サービス推進会議(事務局:市民課)において、5/17~6/11までの4週間、本庁及び各支所窓口でアンケートを実施した。								
取り組みについての成果(C)								
アンケートについては窓口において協力できる方のみお願いした。(回答者数 367人(うち白紙回答 14人))								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
前倒しで実施できたことは非常によかったと考えるが、窓口において協力できる方のみお願いしたため、回答内容が比較的よい結果に偏っているのではと感じられたため「良い」とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
アンケート結果を受けて市民窓口サービス推進会議から提案要望事項を提出されたが、市民窓口サービス推進会議が要望を取りまとめるだけとなってしまう、窓口サービス向上の中心となるような会議とはならなかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
なし								
(市民窓口サービス推進会議の中でも、アンケートの継続実施への意見は様々であり、市民窓口サービス推進会議自体の今後のあり方も含め検討したい。)								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
前倒しで実施したということで、B評価とした。 ただし、アンケートの結果を協議し反映していかなければ、何のためにアンケートを取ったか分からないので、協力していただいた市民のためにも窓口サービスの向上につながるような取り組みを行うこと。 なお、取りまとめたアンケートの結果については、市民のアンケートに対する意識を深める意味から公表を行っていくよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・22年度評価(行革担当)でよいと思う。</p> <p>・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。接遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。</p> <p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月20日	平成23年6月28日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	「ワンストップサービス」の実現		体制コード	3-1-2-1				
所管	市民課 市民年金室		担当者・内線番号	伊与部久子 291				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
平成21年9月に「窓口サービス推進会議」を設立し、市民の側に立った窓口サービスのあり方を、課の配置状況案内板の表示など、それぞれの意見を集約した。新年度においても引き続き実施する。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市民アンケートを実施して市民の要望を反映させたい。 「窓口サービスアンケート」の実施。集計。あるべき窓口サービスについての方向性を検討。								
平成22年度取組み内容(D)								
昨年度同様、『窓口サービス推進会議』で検討を続け、その中で窓口サービスに対する市民の要望を聞き取るためにアンケートを実施した。 アンケートの結果を受け、本庁はスペースに余裕がないため、職員が書類を持って次の窓口案内すること、2階以外の担当課職員は市民課に呼ぶことによりお客様に負担を掛けない窓口サービスを実施した。支所においてはH23組織再編で比較的空間に余裕ができるため、カウンターの一部を利用したワンストップサービスへの対応を行った。								
取組みについての成果(C)								
窓口サービスアンケートの実施により、市民の求める窓口サービスのあり方が見えてきた。 本庁では職員が先にご案内することと2階以外の担当課職員は市民課に呼ぶことによりお客様に負担感を持たれないようにした。支所ではワンストップサービスへの対応により、職員が動くことでお客様の負担軽減に努める。 また、高齢者や体の不自由な方には、カウンターでなくとも待合椅子でも受付するなど気配りをした。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
市民の求める窓口サービスのあり方が見えてきたことにより、改善すべきことがわかってきた。 その結果、お客様に積極的に声掛けして用件を聞きだし、早く目的の窓口にご案内し、用件が間違いなく果たせるようにサポートすることができた。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
窓口担当が一丸となってこの窓口アンケートの実施結果を踏まえた対応に取り組んだこと。 毎月定例の打ち合わせ会議を行い、新しい知識の習得や、情報共有を図ることにより職員の資質向上に努めたこと。								
平成23年度中の実施目標(P)								
支所はワンストップサービスを実行するとともに、組織再編に伴い戸籍住基の窓口で簡易な税務証明も発行していく。 本庁はスペース確保が困難であるため、引き続き職員が書類を持ってお客様を案内して歩く方法で負担感を持たれないようにしていく。 職員の研修に努め、お客様の満足度向上に努める。								

平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>取り組みの内容については大いに評価できると思う。今後は、各種手数料などの納付書の発行から収納までを、一度の訪庁で完結できるよう決裁システムから再度細部を検討してほしい。横断的な業務のワンストップから単一業務内のワークフロー短縮もワンストップサービスのひとつと考えられるのではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年6月20日	平成23年6月29日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無	
取組内容	総合案内の設置(本庁)		体制コード	3-1-2-2		
所管	市民課・市民年金室		担当者・内線番号	伊与部久子 291		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	-
	H22	目標数値	H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
<p>平成21年度から実施している。 正面玄関に近いこともあり、来庁される市民の方には担当する課、係のところへ早く行くことができ、また観光パンフも用意してあるので市外からの観光客にも好評である。 「窓口サービス推進会議」で検討。</p>						
平成22年度中の実施目標(P)						
<p>前年度同様に実施する。 「窓口サービスアンケート」の実施。集計。あるべき窓口サービスについての方向性を検討。</p>						
平成22年度取り組み内容(D)						
<p>前年度同様に実施した。 ロビーの来庁者に積極的に声掛けをするように心がけた。</p>						
取り組みについての成果(C)						
<p>総合案内窓口を利用する来庁者が増加してきた。</p>						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>受け身でなく積極的に声を掛けるように心がけたことにより、まごつく来庁者に対して適切な案内を行うことができ、市民の利便性の向上に寄与した。</p>						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
<p>来庁者の問い合わせにすぐ答えられるよう日々研鑽した。</p>						
平成23年度中の実施目標(P)						
<p>昨年同様に実施する。</p>						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>所管課評価に同じ。 なお、更なる周知と充実を図り「ワンストップサービスの実現(3-1-2-1)」にもつながるよう努めること。</p>						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A) (取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	窓口表示板の設置		体制コード	3-1-2-3				
所管	総務課 総務・危機管理室		担当者・内線番号	川村勇治(内線313)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
従来の執務室ごとの表示、正面ホールの各課(係)表示に加え、各階の階段室(エレベーター脇)に各課(係)の表示を追加した。 「窓口サービス推進会議」で検討。								
平成22年度中の実施目標(P)								
「窓口サービスアンケート」の実施。集計。あるべき窓口サービスについての方向性を検討。								
平成22年度取組み内容(D)								
「窓口サービスアンケート」の実施。集計。あるべき窓口サービスについての方向性を検討した。								
取組みについての成果(C)								
窓口アンケートの結果は、窓口が分かりにくいという回答は少なかった。(設問内容から判断しづらい。)								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
今回の窓口アンケートの結果では判断しづらい。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
アンケート結果を受けて市民窓口サービス推進会議から提案要望事項を提出されたが、市民窓口サービス推進会議が要望を取りまとめるだけとなり、窓口サービス向上の中心となるような会議とはならなかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、取りまとめたアンケートの結果については、市民のアンケートに対する意識を深める意味から公表を行っていきよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月20日		平成23年6月29日		平成23年7月13日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		延長窓口等の充実・検証				体制コード		3-1-3-1			
所管		市民課・市民年金室				担当者・内線番号		伊与部久子 291			
取組時期	H21	実施・検討		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23		
	H24				H24	-			H24		
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
<p>本庁は、毎週火曜、木曜、支所は木曜に午後7時まで実施している。利用人数の多少の変動はあるものの市民にも定着してきたものと思われる。平成21年度は利用人数1,116人、件数は1,353件であった。平成20年度利用件数は987件であり、(利用人数の集計データなし)利用数は増加の傾向にある。 「窓口サービス推進会議」で検討。</p>											
平成22年度中の実施目標(P)											
<p>前年度同様に実施する。 今後は、延長時間や回数そして利用者の少ない各支所での延長窓口の必要性などが検討課題となっている。利用実績を踏まえて効率的に実施できるよう検証していく必要がある。</p>											
平成22年度取り組み内容(D)											
<p>本庁は、毎週火曜、木曜、支所は木曜に午後7時まで実施している。制度が定着してきて本庁の利用者数は増加傾向にある。平成22年度は利用人数1,179人、件数は1,537件であった。 県内市町村の延長窓口実施状況を調査し集計した。</p>											
取り組みについての成果(C)											
利用者数で前年度比5.6%の増加であった。											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>計画通り実施し利用者数も増加した。 今後の延長窓口の実施方法を検討するための資料をそろえた。</p>											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
<p>市広報誌に延長窓口の情報を掲載し利用を促進した。 電話照会の際に、延長窓口のPRをした。</p>											
平成23年度中の実施目標(P)											
<p>前年度同様に実施する。 各支所での延長窓口の必要性を引き続き検証していく。 延長窓口全体のシステムを見直し、より利用しやすい延長窓口の構築を目指し検討する。</p>											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>所管課評価に同じ。 ただし、これだけでは支所の内容が不明のため、その部分を明らかにし、平成23年度中の実施目標については、先延ばしになることのないように期限を定めて方針をまとめるよう努めること。</p>											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・支所の延長窓口の利用について、実施の曜日設定の検討はしているのか。 ・詳細が分かるよう記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月20日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	住民票、各種税証明等自動交付機の設置		体制コード	3-1-3-2				
所管	政策推進課 情報化推進室、市民課 市民年金室		担当者・内線番号	山田和浩 502、伊予部久子 291				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
住民票等の発行については、自動交付機のほかにコンビニ交付も可能となってきている。本市としては時間外における交付数などの調査を行い、今後どのような方法で対応するか各システムのセミナー等により研修を行った。「窓口サービス推進会議」で検討。								
平成22年度中の実施目標(P)								
今後どのようなシステムを導入していったらよいかを、必要性も含めさらに検討していく。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「窓口サービス推進会議」から提出された改善要望には導入に関する記載なし。 戸籍システム更新に伴いコンビニ交付についても検討したが、補助を受けるためには住基カードの普及を前提としたものであったため見送る。 市民課では、市役所来庁者を対象とした窓口サービスアンケートを実施、県内市町村に窓口アンケートを実施した。								
取り組みについての成果(C)								
アンケートの実施により、市民の要望を聞くことができた。また、県内市町村の窓口の状況を把握できた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
窓口サービスアンケートを実施して、市民の要望を集約した。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
市民の要望があることは把握できたが、必要性(無いと困る、あった方良い、など)や費用対効果については検証していない。								
平成23年度中の実施目標(P)								
費用をかければ導入はできるが、自動交付機やコンビニ交付の必要性を何に求めるのか、再検討の後、あらためて導入年度について協議する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
取り組みは評価するが、スケジュールが遅れているため、C評価とした。 また、平成23年度の実施目標による検討の結果については、関係課で今年度中にまとめるよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>自動交付機の設置を検討するに当たって、情報機器の操作ができないもしくは苦手な人の対応策はどのように検討されたのか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	市税等のコンビニ収納		体制コード	3-1-3-3				
所管	税務課収納対策室		担当者・内線番号	長 研一 内線211				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	
	H23	実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度中に、他市の状況、および所要経費について調査を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度実施に向けて、具体的な準備を進める。								
平成22年度取り組み内容(D)								
庁内の会議を行い、他市の状況、所要経費、費用対効果について検証し、本市においての24年度からの実施という検討結果を得た。								
取り組みについての成果(C)								
他市の状況、費用対効果と住民サービスについて考えさせられた。 成果としては、予算化してもらえなかったことから不十分なのかと思うが、他市でも行っていなかった納税者の側の効果の検証までできたので、考え方のベースはできたと思う。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
24年度からの実施も考えられなくなったこと。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
費用対効果と住民サービスの向上について考えさせられた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
県、他市がコンビニ収納化されている中で、住民からの要望も多くなってきており、住民サービスの向上のためにも少しでも早く実施できるようお願いしていきたい。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取り組みは行われているので、所管課の評価のとおり、C評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市税等の納付は口座振替利用を推進すべきだが、滞納防止の観点からコンビニ納付も利用可能とすることで市民の利便性向上を図るべき。</p> <p>・(2-2-2-1)口座振替、(2-2-1-4)コンビニ収納と関連するが、住民サービスの向上 = 収納率の向上が期待できるのであれば(費用対効果を考慮)早期導入を図るべき。</p> <p>・自動振替の推進との整合性は十分か。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会
	平成23年6月20日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有
取組内容	電子申請システムの導入		体制コード	3-2-1-1	
所管	政策推進課		担当者・内線番号	山田和浩 502	
取組時期	H21	検討	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)
	H22		H22	-	
	H23		H23	-	
	H24	実施	H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)					
<p>平成18年に県内市町村で検討した結果、導入した市町村は5団体であった。現在は新しいシステムも出ており、今後他市の状況を踏まえ検討しなければならないが、費用対効果を含め個人認証を必要とする申請については、申請数や申請の種類などの把握ができていない。</p> <p>しかし、個人認証の必要としない、各種申請やアンケートやイベントの申込等については、比較的安価に構築できるシステムを22年度から導入していく。</p>					
平成22年度中の実施目標(P)					
<p>個人認証の必要ない、各種申請やアンケートやイベントの申込等については、ASPによるシステムを導入する。また、個人認証を必要とする申請等については、各課の申請の種類や申請数等調査し、費用対効果と必要性を検討する。</p>					
平成22年度取組み内容(D)					
平成22年4月から「かんたん申請、申込システム」導入して運用を始めた。					
取組みについての成果(C)					
<p>利用方法について周知し、個別に担当者へもPRしたが、これまでと同様に担当者が取りまとめた方が漏れが無いなどを理由に利用頻度が伸びていない。</p>					
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い	
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
<p>利用数が思ったより伸びなかったこと、各課の申請の種類を調査していないことを踏まえて評価した。</p>					
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)					
<p>システムを導入しても、情報担当が主導になってしまうと、利用者が「あれば便利」程度の考え方になってしまい効果が薄れる。また、仕事のやり方を変える必要を感じなければ使おうとしない。</p>					
平成23年度中の実施目標(P)					
<p>個人認証を使う申請等については、事前に、関係各課にどのような使い方をするか協議してもらい、利用に結びつける必要がある。そのため、各課に対してシステムの導入が必要かどうかの調査を行う。</p>					

平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。 調査・検討は期限を決めて、結論を出すように努めること。</p>		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。 ・かんたん申請、申込システムの導入に際し、その必要性や緊急性・汎用性など十分に評価、検証されたのか。ASPによるシステムを導入するという記述があるが、セキュリティに十分配慮された計画なのか。このシステムを導入するにあたり専用端末を導入するというのであれば、全体の情報政策との整合性は十分か。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月20日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	施設予約システムの導入		体制コード	3-2-1-2				
所管	政策推進課 情報化推進室		担当者・内線番号	山田和浩 502				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	
	H23			H23	-		H23	
	H24	実施		H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
各施設からの要望もなく実態調査も行っていない。								
平成22年度中の実施目標(P)								
施設担当課を含めシステムの導入の必要性を検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
平成22年4月から導入した「かんたん申請、申込システム」の外部利用が進まないことから、具体的な取組みは行っていない。								
取組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取組みは行っていないが、施設担当課からも導入要望が出ていない。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
平成23年度中の実施目標(P)								
「かんたん申請、申込システム」があまり使われていない状況から、完成品でなければ使わないだろうと思われる。電子申請システムと同様に、各課に対してシステムの導入が必要かどうかの調査から始める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 調査・検討は期限を決めて、結論を出すように努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p> <p>・かんたん申請、申込システムの導入に際し、その必要性や緊急性・汎用性など十分に評価、検証されたのか。ASPによるシステムを導入するという記述があるが、セキュリティに十分配慮された計画なのか。このシステムを導入するにあたり専用端末を導入するというのであれば、全体の情報政策との整合性は十分か。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月29日		平成23年7月1日		平成23年7月13日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		携帯電話用の市ホームページの充実			体制コード		3-2-2-1				
所管		政策推進課企画政策室			担当者・内線番号		竹内和広・531				
取組時期	H21	実施		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23	-	
	H24				H24	-			H24	-	
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
携帯電話用ホームページに掲載すべき追加情報を検討した。											
平成22年度中の実施目標(P)											
携帯電話用コンテンツの作成・公開を行う。											
平成22年度取り組み内容(D)											
新たに「観光情報」、「休日の急患やけがのとき」、「あさひまほろば夢農園」、「緊急時の連絡先」、「各種相談」、「各施設電話番号」の6つコンテンツを作成・公開したほかに、東日本震災関連のコンテンツを作成し、避難所開設状況、物資受入等の情報を随時更新した。											
取り組みについての成果(C)											
職員のスキルアップ											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
緊急時に取得を要する情報を優先に公開したことにより利用者の利便性が高まったと考える。											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
コンテンツ数の拡大も必要だが、携帯電話で見やすいホームページの研究が必要											
平成23年度中の実施目標(P)											
ホームページの新着情報を原則公開していくコンテンツを作成する											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 コンテンツの更新がされていない(遅れている)ものがあるため、更新に努めること。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・携帯電話用のコンテンツは利用者側として、通常のWebサイトよりも即時性・同時性が強く求められるのではないか。(本日の急患受け入れ施設とか、本日の会場別イベント開催一覧など)更新のルーチンワークを再度検討する段階ではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月26日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	「むらかみ情報ねっと」の更なる周知・普及		体制コード	3-2-2-2		
所管	総務課 総務危機管理室		担当者・内線番号	川村勇治(内線313)		
取組時期	H21	実施	H21	-	H21	9,640人
	H22		H22	10,000人	H22	10,688人
	H23		H23	15,000人	H23	
	H24		H24	20,000人	H24	
	後期		加入者数(4月1日)		加入者数(翌年度4月1日)	
平成21年度取組み内容(D)						
市報(毎号)での周知及び、防災講座等での周知を図った。						
平成22年度中の実施目標(P)						
引き続き周知を図り、登録者数増やす。						
平成22年度取組み内容(D)						
市報(毎号)での周知及び、防災講座等での周知を図った。						
取組みについての成果(C)						
登録者数 1,048人増						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
登録者数は伸びているが目標数に達していないため。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
市報等の媒体による周知より、防災講座などの口コミによる周知が効果的のようであるが、防災情報等の生命財産にかかる必要な情報であっても、受信者に受信費用の負担が生じること、受信者が必要としない情報も一方的に配信されるから、広報手段としては今後大幅な伸びは期待できないと考える。						
平成23年度中の実施目標(P)						
引き続き周知を図り、登録者数増やす。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、市民へのより身近な情報伝達手段として取組みを進めるものであり、利用周知と内容の充実に努めること。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。</p> <p>・情報の取捨選択権を利用者側へ渡す必要性は無いか(ヘッダーとテキストリンクのみを当初配信など)</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月26日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	携帯電話を活用した新たな情報発信		体制コード	3-2-2-3		
所管	総務課 総務危機管理室		担当者・内線番号	川村勇治(内線313)		
取組時期	H21	検討	H21	-	H21	-
	H22	実施	H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)						
新たな情報発信を検討するための関係各課との協議には至らなかった。						
平成22年度中の実施目標(P)						
新たな情報発信について、関係各課との協議を行う。						
平成22年度取組み内容(D)						
新たな情報発信を検討するための関係各課との協議には至らなかった。						
取組みについての成果(C)						
未実施のためなし						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
関係各課との協議には至らなかったため。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
「むらかみ防災・防犯情報ねっと」は防災・防犯情報など緊急性の高い情報をメールによって配信するものとしてHP上で周知されており、単に周知を目的とした緊急性の低い情報は、受信者によっては趣旨にそぐわないと苦情をいただくことがある。既存の「むらかみ防災・防犯情報ねっと」とは別に、登録者が必要な情報を選択できる情報発信システムを構築または総合情報システムを構築し、防災・防犯情報ねっとを組み込むこと等が有効と考える。						
平成23年度中の実施目標(P)						
情報政策の一環としての協力体制を築く。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取組みを行っていないので、D評価とした。 なお、結論を早期に出せるよう、関係各課での協議が必要。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。 ・「携帯電話」というひとつのハードウェアにこだわらず、ソフトウェアによる配信を軸に展開すればハードウェア利用者がそれぞれの持つハードウェアに合致したコンテンツを利用する展開となるのではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年6月30日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	観光案内情報システムの構築		体制コード	3-2-2-4				
所管	商工観光課観光交流室		担当者・内線番号	船山ケイ子(内線351)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
<p>今年度観光事業のホームページ等のシステム構築をユビキタスタウン構想推進事業として申請したが、不採用となり、現在市の補助事業を受け商工観光課と共に村上市観光協会の中で観光ホームページの構築を行っており、22年度夏の一般公開を目指している。</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
<p>平成22年度のできるだけ早い段階で一般公開できるよう作業を進める。また、ホームページの更新体制を含め研修していく。</p>								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>平成22年7月1日にホームページのリニューアルオープンを迎えることができた。 村上市・村上市観光協会だけでなく、村上商工会議所ほか市内の事業所・個人からも、ホームページの編集会議に参加があり、また外部の有識者から指導を受け、観光情報の提供を行ってきた。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>平成22年度末には、従来のホームページのアクセス数から5倍程度に増加した。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>平成22年度中の公開を行い、月1~2回程度の編集会議の開催で有識者からの指導の下、編集員のスキルアップを図ることができた。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>編集員が交代で毎日休まず情報を書き込み、また、観光客や市民からの情報や声を書き込まれ、その積み重ねによって、何度ホームページにアクセスしても新着情報があり、日々変化・進化していくホームページになっている。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>・月一回程度の編集会議を行い、編集員の増員とスキルアップを図っていく。 ・ホームページのアクセス数を、編集会議としての当初の目標である10倍に近づける。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>更新頻度や内容などが充実していると考えるので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 現状、市のホームページとの連動性に乏しいので、その点についても工夫が必要。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	事務事業の整理・統合実施		体制コード	3-3-1-1				
所管	下水道課 管理業務室		担当者・内線番号	中村豊昭・214				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
平成23年度からの市組織改革に合わせて、特に本庁、市所間の事務事業について、整理・統合の検討を行った。								
取り組みについての成果(C)								
2係が統合により1室となることに伴う、課内の業務分担について見直しを行い、組織変化に対応した。また、支所の人員が減員となる状況を踏まえ、支所で行っていた事務事業の本庁への引き上げ、及び引き上げに伴う事務内容の見直しについて見当した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
事務事業の実施について、特に混乱も無く想定どおりに平成23年度を迎えることができた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
事務事業の整理・統合については、平成23年度中における検討も引き続き必要である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成22年度に引き続き、事務事業の整理・合理化を図る取り組みを行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 無		
取組内容	行政改革大綱実施計画の進捗管理		体制コード	3-3-1-2			
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)			
取組時期	H21	実施	H21	-	成果数値	H21	-
	H22		H22	-		H22	-
	H23		H23	-		H23	
	H24		H24	-		H24	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)							
行革委員会に諮問するため、平成21年度の進捗状況について各課照会を行った。							
平成22年度中の実施目標(P)							
行革委員会に諮問し、平成22年度中に答申をいただく。							
平成22年度取り組み内容(D)							
平成21年度の進捗状況を取りまとめ、行革本部会議において内部評価として確認後、行政改革推進委員会へ意見諮問し、答申をいただいた。							
取り組みについての成果(C)							
各担当で実施項目の検証を行うことで、評価・改善を行う意識の向上につながった。							
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
進捗状況を内部評価し、行政改革推進委員会の意見を答申していただいた。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
行政改革推進委員会からの答申にあるとおり、初めての取り組みとして行政内部で評価を行ったことは職員の意識の向上にもつながるものであったが、評価に至った考え方、過程が分かりづらいことなどの指摘があったので改善が必要である。							
平成23年度中の実施目標(P)							
評価の過程が分かるよう進捗管理表の様式を改め、進捗状況について内部評価のうえ、行政改革推進委員会の意見を答申いただく。							
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 ただし、内容の記載については、順次改善に努めること。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	村上市総合計画実施計画の評価・検証制度の創設		体制コード	3-3-1-3				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線27)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			-	H22		-	
	H23			-	H23		-	
	H24			-	H24		-	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
評価制度のあり方について、行革委員会へ諮問し、答申をいただく。								
平成22年度取組み内容(D)								
行政改革推進委員会へ「村上市における行政外部評価のあり方について」を諮問し、答申を受けた。 答申では、何のために評価を行うのか、また、外部評価委員会(仮称)設置の意義と目的を明確にし、評価が改善へとつながるようスピードを持った取組みを求められた。								
取組みについての成果(C)								
評価制度の構築により、徹底した情報公開と、市民が行政に参画する仕組みづくりが期待される。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
これまでに行ったことがない外部評価の取組みについて、行政改革推進委員会への諮問し、答申を受けたことにより、評価制度構築に向けた取組みが行えた。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
行政改革推進委員会での検討にあたっては、その必要性を十分理解されているがために、外部評価委員会設置の意義と目的を明確にし、評価が改善へとつながるようスピードを持って取組みを求められているものであり、制度構築に向けた具体的な取組みが必要と考える。								
平成23年度中の実施目標(P)								
事務の効率化や今後の財政運営に影響してくるような事業をいくつか選定したうえで、その事業に対する現状課題から改善方法の検討・実施を行政内部として重点的に取組み、外部評価の位置づけとともに、財政と連動した評価制度の仕組みを改めて考えていく。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 評価制度を行うことが目的とならないよう、評価制度の目的や位置づけを明確にしたうえで、取組みを推進すること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月20日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	電子決裁の導入 (財務会計、文書管理、ほか)		体制コード	3-3-2-1 (3-2-1-3、3-2-1-4)				
所管	政策推進課		担当者・内線番号	山田和浩 502				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
財務会計システムの電子決裁は今年度先進地である新発田市を視察し業務の方向性が見えてきたが、文書管理システムについてはまだ検討の段階にも入っていない。								
平成22年度中の実施目標(P)								
財務会計システムについては平成23年度の機構改革による組織編成に向け、機器の調達、システム構築等の作業を進める。								
平成22年度取組み内容(D)								
財務会計については、システム調整及び機器の調達が終わり、運用ができるまでに至った。開始については、会計年度の切替にあわせて、平成23年6月21日からとした。 文書管理については、財務会計と同じ決裁基盤を使っていることから、平成23年度の運用状況を見ながら進めていく。そのため、平成22年度の取組みはなし。								
取組みについての成果(C)								
試行運用を行った結果、文書のPDF化など、他業務でも活用できる事務処理手法を身に付けることができた。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
開始年度に遅れは出たが、年度末から年度初めの混乱時期を避けることができ、研修に時間が取れたこと。加えて文書管理システムも開発費用を除けば導入の目処がついたことを踏まえた評価。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
関係課の協力を得て、作業(担当)を分担できたことにより、全体で取り組むことができた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
文書管理システムの導入を前提として、費用を含めた調査を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・電子決裁にあたり、財務会計については監査資料の整理基準はどう規定されたのか。</p> <p>・レスペーパーへの取り組みは。</p> <p>・詳細が分かるように記載願いたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	国県の権限移譲の受け入れ促進		体制コード	3-3-2-2				
所管	政策推進課企画政策室		担当者・内線番号	船山幸文・531				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
新たに6件の事務・権限移譲を受け入れました。 (移譲件数総数:県内20市中17位)								
平成22年度中の実施目標(P)								
職員定数を削減している中ではあるが、市民サービスの向上につながるものについては、積極的に移譲を進めます。								
平成22年度取組み内容(D)								
県が示す「おすすめメニュー」を中心に各部署へ照会したが、受入はなかった。								
取組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
受入が無かったため。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
受け入れない理由の検証を行わなかったことが主な原因と考える。								
平成23年度中の実施目標(P)								
一つでも受入を実施したい。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 受け入れない理由の検証などを行い、来年度以降、受け入れを推進できるような仕組みを確立できるよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・「受け入れない理由の検証を行わなかったことが主な原因と考える。」という意味が分からない。</p> <p>・職員数を削減していく中で、受け入れることによる業務量の増加程度や、受け入れることによる住民サービスの向上が期待できるのか、十分検討し結論すべきと思う。</p> <p>・詳細が分からないので、受け入れ対象となっている業務の一覧などを示していただきたい。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	利用者へのアンケート調査内容と備え付け場所の検討、回収箱の設置		体制コード	4-1-1-1				
所管	環境課		担当者・内線番号	土田 孝・272				
取組時期	H21	検討・設置	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
指定管理者制度導入施設(村上火葬場、荒川火葬場)に設置済。								
平成22年度中の実施目標(P)								
既存設置施設は引き続き実施する。 平成22年度から新たに指定管理者制度を導入する山北火葬場に設置する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
既存設置施設は引き続き実施した。 新たに山北火葬場に設置した。								
取り組みについての成果(C)								
利用者の意見を聞くことが出来、施設の改善につながった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
予定どおり実行されている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き継続する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画どおり実施されているので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 ただし、取り組みの成果については、具体的な取り組み内容や、意見を受けて実施したことによる成果を検証し、記載すること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月20日	平成23年6月21日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	利用者へのアンケート調査内容と備え付け場所の検討、回収箱の設置		体制コード	4-1-1-1				
所管	介護高齢課高齢福祉係		担当者・内線番号	田中和仁(内367)				
取組時期	H21	検討・設置	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>老人福祉センターあかまつ荘及び老人いこいの家寿山荘で利用者アンケートを実施した。アンケートには、利用者の年代、施設主催の事業要望、施設の満足度などについて、調査を実施しました。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>両施設とも、運営時間等はこのままでよいとの意見が大多数であった。また、職員対応や施設の満足度についても、圧倒的に満足していると答える方が多かった。健康維持に役立てたいとの意見から、老人福祉センターあかまつ荘では、体重計や血圧測定器を導入した(寿山荘は導入済み)。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>利用者の大多数が運営に満足していることが分かったとともに、利用者にはリピーターが多く、新規の方が少ないということがよくわかった。寿山荘は施設が老朽化していることから、多くの意見が寄せられると思っていたが、施設改善に対する要望は少数意見だった。今後の運営に非常に参考となった。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>意外にも、施設改修を要望されるのは少なかった。ソフト面でどのように利用拡大を図るか今後の課題としたい。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>アンケート未実施の施設に利用者アンケートの設置を拡大したい。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>アンケートの実施については順調に取り組んでいるようなので、所管課の評価のとおり、B評価とした。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>意外にも「施設改修の要望が少なかった」とあるが、「要望が少ない」で済ませず、行政側で必要と考えているのならそれなりの方策を進めるべきである。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	利用者へのアンケート調査内容と備え付け場所の検討、回収箱の設置		体制コード	4-1-1-1				
所管	生涯学習課スポーツ推進室		担当者・内線番号	大滝豊 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	設置		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
村上地区にて利用者に対するアンケートを検討 【指定管理者側で実施:業務管理仕様書に基づくもの】								
平成22年度中の実施目標(P)								
アンケート回収箱の設置								
平成22年度取り組み内容(D)								
アンケート回収箱の設置(1地区のみ)								
取り組みについての成果(C)								
施設利用者の意見等を知ることができ、利用者の利便が向上した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い					
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
ニーズに合った施設使用が図られる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
記入する人より直接口頭で話す人が多いので、呼びかけが必要。								
平成23年度中の実施目標(P)								
他地区への設置								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い					
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
指定管理者導入時にアンケートの設置をしたということなので、計画どおりのB評価とした。 ただし、設置して回収するだけで終わらないよう、アンケート結果の取りまとめ、検討、反映、結果の公表等を行って いこう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	アンケート調査の実施 継続して実施		体制コード	4-1-1-2				
所管	環境課		担当者・内線番号	土田 孝・272				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
指定管理者制度導入施設(村上火葬場、荒川火葬場)で実施した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
既存設置施設は引き続き実施する。 平成22年度から新たに指定管理者制度を導入する山北火葬場で実施する。								
平成22年度取組み内容(D)								
既存設置施設は引き続き実施する。 新たに指定管理者制度を導入する山北火葬場で実施した。								
取組みについての成果(C)								
利用者の意見を聞くことが出来、施設の改善につながった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い				
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
予定どおり実行されている。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
特になし。								
平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き継続する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い				
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
計画どおり実施されているので、所管課の評価のとおり、B評価とした。 ただし、取組みの成果については、具体的な取組み内容や、意見を受けて実施したことによる成果を検証し、記載すること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月29日		平成23年6月30日		平成23年7月11日		平成23年8月1日		個別意見 無		
取組内容		アンケート調査の実施 継続して実施			体制コード		4-1-1-2				
所管		生涯学習課文化行政推進室			担当者・内線番号		田邊覚・朝日庁舎内線211				
取組時期	H21	実施		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23		
	H24				H24	-			H24		
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
-											
平成22年度中の実施目標(P)											
-											
平成22年度取り組み内容(D)											
<p>・指定管理施設である郷土資料館・若林家住宅・三之丸記念館・村上歴史文化館でアンケートを実施している。</p> <p>・郷土資料館では、22年度からアンケート設置箇所で開催した戦国武将アンケート(好きな武将に1票を投じてもらう。結果をホームページで公開)を実施した。</p> <p>・市直営の縄文の里・朝日では、継続して実施している利用者アンケートに22年度から体験料金についての項目を追加した。また、アンケート回答者数が年間30前後で推移していたため、22年度末にこれまで1箇所だったアンケート設置及び回収場所を2箇所に増やすとともにアンケートに体験料金の設定について質問項目を設けた。</p> <p>・縄文の里・朝日では、イベント時等の支援市民スタッフ・支援職員にも運営方法等のアンケートを実施し、次回の事業に反映させた。</p>											
取り組みについての成果(C)											
<p>・郷土資料館での取り組みにより館内アンケート回答者数が21年度の554人から735人に増加し、より多くの人の感想・意見・提案等を得ることができ、施設の運営管理、職来館者への対応、次回の事業に反映させることができた。たとえば自主事業の講座の場合の料金設定や講座内容についてなどである。</p> <p>・縄文の里・朝日については、体験料金の設定について質問項目を設けた結果一定の評価を得、23年度はこれまでと同様の料金設定とした。</p>											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>・アンケートを継続し、アンケート回答者数自体を増やす方策に取り組み、回答内容を事業に反映できたことからB評価とした。</p>											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
<p>・郷土資料館等において指定管理者が実施しているアンケートは新たな視点で時機を得た戦国武将の人気投票を組み合わせることで成果が上がった。</p> <p>・縄文の里・朝日では、質問項目を固定化せずその時に知りたいことを加えることによって新年度の運営に反映することができた。</p>											
平成23年度中の実施目標(P)											
<p>・いずれの施設でもいかにして多くの人に記入していただくかが課題である。記入場所、来館者への依頼方法(手渡しも含め)、経費の発生しない記入者への見返り(郷土資料館の戦国武将人気投票の結果をホームページで公開する事例を含む)について検討し、とくに22年度末に記入場所を2箇所に増やした縄文の里・朝日の回答数を増やす。</p>											

平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。 なお、アンケートについては、戦国武将人気投票に限らず、取りまとめの結果や、アンケートが反映された内容を示すことで、より利用者のアンケートに対する意識が上がると思うので、公表の仕方についても工夫して実施すること。</p>		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p> <p>(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月20日	平成23年6月21日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	アンケート調査結果により有効活用の検討・実施		体制コード	4-1-1-3				
所管	介護高齢課高齢福祉係		担当者・内線番号	田中和仁(内線367)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
老人福祉センターのアンケート内容に、健康管理のために体重計と血圧計の設置要望があり、経費と効果内容を検討したうえで設置した。								
取り組みについての成果(C)								
アンケート結果は集計し、グラフにまとめて施設内に掲示した。Q&Aのように、質問に答えるような書き方で少数意見も掲示した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
利用者の素朴な質問などに答えることができるとともに、多くの方に施設の運営に参画していただくことができ、十分成果が得られたと感じる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
十分成果が得られたとともに、施設運営形態に多くの方に賛同いただいた。今後は、少ない意見からアイデアやヒントが見つければよいと思っている。								
平成23年度中の実施目標(P)								
アンケート結果の評価から、自主事業内容の企画などを検討し、新規利用者の拡大を図りたい。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課の評価のとおり、B評価とする。 ただし、取り組みについての成果については、これは取り組み内容であり成果ではないので、体重計と血圧計の設置のための経費とその利用状況や有効性といった部分の検証を行い、取り組みに対する成果を把握していくよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年6月30日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	アンケート調査結果により有効活用の検討・実施		体制コード	4-1-1-3				
所管	生涯学習課文化行政推進室		担当者・内線番号	田邊覚・朝日庁舎内線211				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>・郷土資料館では、館内アンケート及び個別の自主事業ごとにもアンケートを実施し、次回の事業の内容や料金設定等運営に反映させている。</p> <p>・縄文の里・朝日については、集計まで行い一部項目について活用しているものの、全部の項目について詳細な分析・検討・活用までには至っていない。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>・郷土資料館では、館内アンケート及び個別の自主事業ごとにもアンケートを実施し、次回の事業(自主事業の講座の場合の料金設定や講座内容についてなど)に反映させている。</p> <p>・縄文の里・朝日については、体験料金の設定について質問項目を設けた結果一定の評価を得、23年度はこれまでと同様の料金設定とした。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>・郷土資料館等指定管理施設については、アンケート回答内容を分析・検討し事業へ反映できたことからA又はB評価が相当であり、市直営の縄文の里・朝日については、アンケートの調査結果内容の詳細な分析・検討は一部の項目にとどまり、全部の項目についての分析・検討・問題解決に取り組むまでには至っていないことからC評価が相当である。これにより総合的にはC評価とした。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>・郷土資料館でのアンケート回答者数増加策の実施により、より多くの人の感想・意見・提案等を得ることができ、これを詳細に分析・検討したことが施設の運営管理、来館者への対応、事業に反映できた要因である。</p> <p>・縄文の里・朝日については、体験料金の設定について質問項目を設けた結果一定の評価を得、23年度はこれまでと同様の料金設定としたなど一部で成果は出ているが、年度内には利用者アンケートの全体的な分析・検討ができなかった。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>・分析・検討結果を出しやすく、当該施設の運営・事業に直結しやすい質問設定を工夫する。</p> <p>・紙媒体のアンケートだけでなく、利用者から直接口頭でいただいた様々な感想・意見・情報を担当職員全員で共有し、対応できる体制(パソコン上に利用者から聞いた「声」を書き込む場所を設けることや職員会議での情報交換など)を整える。</p>								

平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>直営で管理している施設のほう取り組みが遅れているが、アンケートの取り組み自体は進んでいると思われるので、引き続き実施し、分析・検討を行っていくように努めることで、B評価とした。</p> <p>なお、アンケートについては、取りまとめの結果や、アンケートが反映された内容を示すことで、より利用者のアンケートに対する意識が上がると思うので、公表の仕方についても工夫して実施すること。</p>		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p> <p>(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月20日	平成23年6月21日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	施設利用に関する団体等との懇談会の実施 継続して実施		体制コード	4-1-1-4				
所管	介護高齢課高齢福祉係		担当者・内線番号	田中和仁(内367)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>養護老人ホームやまゆり荘で入所者との面接を継続して行っている。施設への要望や本人の状況などを面接しながら聞き取りし、施設と入所者の調整をする。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>入所者は概ね施設に対して苦言などはない。むしろ感謝の言葉が多い。施設には言えない悩みや要望も聞く機会となっており、施設と入所者の調整機能として役立っている。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>今後も継続して実施する予定であり、目的が達成されている。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>養護老人ホームは、身寄りのないお年寄りもいることなどから、家族に対し思いを伝えることができない人や知的障害などで思いを伝えられない難しい面接を行うこともある。このような困難ケースは年々増えており、職員のスキルアップが必要と感じる。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>継続して実施する。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>所管課評価に同じ。 なお、「職員のスキルアップが必要」としているため、スキルアップのための計画的で具体的な取り組みを検討すること。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>「職員のスキルアップが必要」とある。この意見を人材育成に活用できるよう、職員研修担当部署と問題点の共有、連携システムの確立が必要と感じられる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	懇談会等での意見集約による有効活用の検討・実施		体制コード	4-1-1-5				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
(具体的取組事例なし)								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い				
-								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
-								
平成23年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い				
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い				
具体的取組事例なしのため								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
なぜ、具体的取り組みがなかったのか。内容が全く分からない。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会
	平成23年7月1日	平成23年7月4日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有
取組内容	支所・学校の空きスペースの確認		体制コード	4-1-2-1	
所管	福祉課 子育て支援室		担当者・内線番号	布施久美子 (内線243)	
取組時期	H21	検討	H21	-	成果数値 (単位:人、%、円など)
	H22		H22	-	
	H23		H23	-	
	H24		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)					
-					
平成22年度中の実施目標(P)					
-					
平成22年度取り組み内容(D)					
保内学童保育所として、保内小学校の空き教室が利用できないかと荒川支所地域福祉課、保内小学校と検討を行っていたが、他の教室として利用するため、利用ができないこととなった。今後は、空き教室の利用ではなく新たに建設等の検討を行うこととした。					
取り組みについての成果(C)					
保内小学校の空き教室は他の教室として利用するため、保内学童保育所として利用ができない。					
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
保内小学校の空き教室は他の教室として利用するため、保内学童保育所として利用ができない。					
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)					
保内学童保育所の利用について、平成21年度末に空き教室の利用について、保内小学校から教室が開かないとの連絡があった。今後の児童数の推移や教室の利用予定等を改めて確認することとしていたが、空き教室の利用でなく建設等を検討することとした。					
平成23年度中の実施目標(P)					
検討済みのためなし					
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い	
結果として利用ができなくなったようだが、検討をして結論を出したので、B評価とした。					

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・空きスペースの活用法を公開し使用法などを募集してみてもどうか。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者 平成23年6月23日	所属長 平成23年6月27日	行革担当 平成23年7月13日	本部会議 平成23年8月1日	行革委員会 個別意見 有		
取組内容		支所・学校の空きスペースの確認		体制コード	4-1-2-1			
所管		学校教育課学校施設係		担当者・内線番号	大滝寿 朝日支所228			
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
地域振興課で取りまとめ(確認の結果、学校には空きスペースが無い、との趣旨で依頼)								
平成22年度中の実施目標(P)								
毎年度確認を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
施設台帳の整備時に学校の空きスペースも確認した。								
取り組みについての成果(C)								
常に状況が把握できている								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
確認については計画通りに事務が進んでいるため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
施設台帳の整理基準日が5月1日であるため、年度当初に各学校の状況が把握できてよい。								
平成23年度中の実施目標(P)								
村上事務所管内の旧門前谷小学校と旧山辺里小学校の利用については、秋から検討委員会を立ち上げて利用について協議する予定のため、プラン決定の際には活用できるよう事務を進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・空きスペースの活用法を公開し使用法などを募集してみてもどうか。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月28日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	支所・学校の空きスペースの確認		体制コード	4-1-2-1		
所管	荒川支所 地域振興課		担当者・内線番号	小林 政一・245		
取組時期	H21	検討	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	-
	H24		H24	-	H24	-
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
-						
平成22年度中の実施目標(P)						
-						
平成22年度取り組み内容(D)						
旧保健室が空きスペースであり、活用できることを確認した。						
取り組みについての成果(C)						
合併当初、一時、職員組合事務所としての使用申請があったが、別の場所を利用することとしたため、緊急的な、一次利用場所として活用していたが、書庫等の整理により、当該場所を空きスペースとして確認することが出来た。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
文書保管場所等の整理により、順次、空きスペースを確保することが出来ている。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
特になし。						
平成23年度中の実施目標(P)						
課の統合に併せた配置の移動により、空きスペースとなり長期的に利用できる場所の確認を行っていく。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い		
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・空きスペースの活用法を公開し使用法などを募集してみてもどうか。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月28日		平成23年6月30日		平成23年7月13日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		支所・学校の空きスペースの確認			体制コード		4-1-2-1				
所管		地域振興課			担当者・内線番号		山田・274				
取組時期	H21	検討		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23		
	H24				H24	-			H24		
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)											
【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースとして確認した。											
平成22年度中の実施目標(P)											
【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースとして確認し、活用できることを確認する。											
平成22年度取組み内容(D)											
【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースであり、長期的に活用できることを確認した。											
取組みについての成果(C)											
中学生と市長とのふれあいトークで、旧議場を使用した。利用人数は中学生22人とどまったが、議場での発言は貴重な体験につながった。											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
長期的な空きスペースであると確認できた。											
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
長期的な空きスペースとして確認できたが、形状等については現状のままとせざるを得ないと感じた。											
平成23年度中の実施目標(P)											
平成23年度においても、長期的に空きスペースとなるか確認する。											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課の評価のとおり、B評価とした。 なお、確認だけでなく、活用についても検討すること。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・空きスペースの活用法を公開し使用法などを募集してみてもどうか。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月4日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペース有効利用の検討		体制コード	4-1-2-2				
所管	福祉課 子育て支援室		担当者・内線番号	布施久美子 (内線243)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
保内学童保育所として、保内小学校の空き教室が利用できないかと荒川支所地域福祉課、保内小学校と検討を行っていたが、他の教室として利用するため、利用ができないこととなった。今後は、空き教室の利用ではなく新たに建設等の検討を行うこととした。								
取り組みについての成果(C)								
保内小学校の空き教室は他の教室として利用するため、保内学童保育所として利用ができない。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
保内小学校の空き教室は他の教室として利用するため、保内学童保育所として利用ができない。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
保内学童保育所の利用について、平成21年度末に空き教室の利用について、保内小学校から教室が開かないとの連絡があった。今後の児童数の推移や教室の利用予定等を改めて確認することとしていたが、空き教室の利用でなく建設等を検討することとした。								
平成23年度中の実施目標(P)								
検討済みのためなし								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
結果として利用ができなくなったようだが、検討をして結論を出したので、B評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・前例にこだわらず、有効活用できる方法を積極的に考えるべき。</p> <p>・合併に伴い、各公共施設の空きスペースがあるにもかかわらず、有効利活用を置き去りにしている感が強い。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月28日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペース有効利用の検討		体制コード	4-1-2-2				
所管	荒川支所 地域振興課		担当者・内線番号	小林 政一・245				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
空きスペースとして確認を行った「旧保健室」については、今年度においては、有効な利用には至らなかった。								
取り組みについての成果(C)								
-								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い					
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
具体的な有効利用を図られなかったため、今後とも、庁舎のセキュリティの確保を保ちながら、有効利用に向けた検討を行っていく。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
外部団体の利用に向けては、なお、庁舎のセキュリティの確保が難しいという問題がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
「旧保健室」の有効利用を図る。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い					
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い					
所管課の評価のとおり、C評価とした。 なお、早期に有効活用が図られるよう、セキュリティの問題等について、関係各課での協議が必要。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・前例にこだわらず、有効活用できる方法を積極的に考えるべき。</p> <p>・場合によっては壁を設置する方法なども検討してみてもいいだろう。</p> <p>・合併に伴い、各公共施設の空きスペースがあるにもかかわらず、有効利活用を置き去りにしている感が強い。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年6月28日	平成23年6月30日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	支所・学校の空きスペース有効利用の検討		体制コード	4-1-2-2		
所管	神林支所地域振興課		担当者・内線番号	山田・274		
取組時期	H21	検討	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	-
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
【神林支所】 定例議会の委員会を市民に身近で開催することができた。また、ふれあいトークの会場として利用することができた。						
平成22年度中の実施目標(P)						
会議会場等の公用での利用、学校等からの使用要望に対応していきたい。						
平成22年度取り組み内容(D)						
会議会場等の公用での利用、区長会の使用要望に対応することとした。						
取り組みについての成果(C)						
区長会を旧議場で開催することができた。						
平成22年度評価(所管)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
利用は40人とどまったが、区長会を旧議場で開催できた。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
旧議場については、形状を基に利用するのは人数的にも制限がある。						
平成23年度中の実施目標(P)						
区長会等公的な会議の場として利用検討をする。						
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・前例にこだわらず、有効活用できる方法を積極的に考えるべき。</p> <p>・合併に伴い、各公共施設の空きスペースがあるにもかかわらず、有効利活用を置き去りにしている感が強い。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月23日		平成23年6月23日		平成23年7月13日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		支所・学校の空きスペース有効利用の検討			体制コード		4-1-2-2				
所管		総務課・朝日支所地域振興課総務管理室			担当者・内線番号		菅原 明 (内線204)				
取組時期	H21	検討		目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22				H22	-			H22	-	
	H23				H23	-			H23	-	
	H24				H24	-			H24	-	
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)											
-											
平成22年度中の実施目標(P)											
H22年4月に朝日商工会の事務局長から、自施設の老朽化を理由に、市朝日支所内に事務所機能を移転できないかとの打診があった。具体的には、正面玄関近くの旧会計課スペースと旧収入役応接室を希望している。可か不可かの回答及び可の場合は条件提示と実施時期の調整を要する。											
平成22年度取り組み内容(D)											
総務課と協議の結果、社会福祉協議会などごく一部の団体以外への貸出しの前例がないため、十分な検討が必要とのことで、回答は保留となっている。											
取り組みについての成果(C)											
回答は保留中なので成果なし。											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い							
				<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い							
庁舎内に他団体が入るといことにはセキュリティーを始めとして種々の問題があること、機関、団体によって可とするか不可とするかの線引きが非常にデリケートで難しい作業であるため、慎重な検討が必要と思われる。結論が出ていないことから自己評価「C」とした。											
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
当該団体には、あらかじめ検討に時間を要する旨の話はしてあり、クレーム等はないが、できるだけ早い時期に回答できるよう関係課で協議を進める必要がある。											
平成23年度中の実施目標(P)											
村上市として早期に結論を出し、回答する。											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> C 悪い							
				<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い							
所管課の評価のとおり、C評価とした。 なお、村上市としての結論を早期に出せるよう、関係各課での協議が必要。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・前例にこだわらず、有効活用できる方法を積極的に考えるべき。</p> <p>・場合によっては壁を設置する方法なども検討してみたいかがある。</p> <p>・合併に伴い、各公共施設の空きスペースがあるにもかかわらず、有効活用を置き去りにしている感が強い。</p> <p>・空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月28日	平成23年6月30日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所・学校の空きスペース施設利用 開始		体制コード	4-1-2-3				
所管	神林支所地域振興課		担当者・内線番号	山田・274				
取組 時期	H21	実施	目標 数値	H21	-	成果 数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
会議会場等の公用での利用、区長会・学校等からの使用要望に対応していきたい。								
平成22年度取り組み内容(D)								
会議会場等の公用での利用、区長会からの使用要望に対応できた。								
取り組みについての成果(C)								
区長会を旧議場で開催することができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
区長会を旧議場で開催したが、利用は40人とどまったが、区長に旧議場が空きスペースとして利用できるということを知らせることができた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
旧議場については、形状を基に利用するのは制限があり、また人数的にも限りがあるという意見を受けた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
会議会場等の公用での利用、区長会・学校等からの使用要望に対応していきたい。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>空きスペースは1チームで確認・利用検討をした方が効率が良いような気がする。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月28日	平成23年6月30日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	外郭団体等を指定するもの 【学童保育所等福祉関係、スポーツ・文化施設】		体制コード	4-2-1-2				
所管	山北支所 地域福祉課		担当者・内線番号	渡辺 律子 243				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
指定管理者制度導入の具体的検討、指定管理者候補(限定)との協議								
平成22年度中の実施目標(P)								
指定管理者の選定、協定の締結								
平成22年度取り組み内容(D)								
【山北やまゆり学童保育所、山北はまゆり学童保育所】 山北地区の学童保育所の指定管理者の候補者選定については、公募による選定は行わず、実績があるNPO法人「おたすけさんぼく」を候補者として選定し、議会で議決され協定書を取り交わした。								
取り組みについての成果(C)								
児童の安全・安心面から管理運営の具体的取組み、利用者とのトラブルの未然防止や対処方法、また、利用者の個人情報保護、職員研修の充実、地域との連携、他施設との連携など施設の管理運営と業務全般に期待がもてる。指定管理者のNPOは協働のまちづくりに対する意識が高く、今後の事業展開により利用者増や施設の空きスペースの有効活用も多いに期待される。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
施設見直し計画に示されたとおりに実行できた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
指定管理者は平成18年度から委託を受けて学童保育所業務を行っていたため、保護者の理解も得られ順調に計画を進めることができた。市では学童保育所最初の指定管理者制度導入となるため、よりよいモデルとなるよう候補者と協議を重ねたが、業務範囲、指定管理料等についての相互の考え方に隔たりがあり調整に苦慮した。								
平成23年度中の実施目標(P)								
目標達成済みによりなし								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課の評価のとおり、B評価とした。 なお、指定管理者制度に対する認識が不足していたと思われるので、これから3年間の指定管理者導入期間の間に、内容の検証を行い、施設管理についての方針をまとめること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月4日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	地域密着型で地区限定するもの 【児童遊園地、農村公園等】		体制コード	4-2-1-3				
所管	福祉課 子育て支援室		担当者・内線番号	布施久美子 (内線243)				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	0件
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
神林地区農村公園・児童公園の各集落への指定管理者制度導入を目指し、各集落区長へ説明を行った。								
取り組みについての成果(C)								
水道料の各集落負担、責任の所在等の問題で各集落区長に理解が得られず、指定管理者制度の導入には、至らなかった。他地区の農村公園等の指定管理者協定期限にあわせ、平成26年度の導入を目指し、各集落へ理解を得られるよう、働きかけを行う。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
他の地区との整合性等の検討が不足であり、旧市町村間での対応の違いから、経費負担について等の理由で各集落への理解が得られなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
それぞれの地区での設置の際の経緯が違いため、各地区を同一基準で指定管理者の導入を行うことが難しいと感じた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年度から荒川地区の児童公園の指定管理者制度導入に向けて、神林地区との整合性を含め、十分検討を行い、関係集落への理解を得られるよう、説明会を行い、準備を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課の評価のとおり、D評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年6月30日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	地域密着型で地区限定するもの 【児童遊園地、農村公園等】		体制コード	4-2-1-3				
所管	農林水産課 農業振興室		担当者・内線番号	山田広良 (内線)344				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成21年度より5箇所の農村公園を地区の公園として、一定の管理権限をもって自主的な運営を行うため地区による指定管理とした。また、門前せせらぎ公園は都市部住民との交流機会の拡大と地区の活性化の推進を目的とし、海府ふれあい広場はさらに地域特産品の消費拡大につながる運営を目指して指定管理とした。								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度より荒川地区を指定するための準備を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
荒島地区・海老江・切田・佐々木の荒川地区農村公園の他、高根交流広場及び大須戸ため池農村公園管理団体を指定管理者に指定。								
取り組みについての成果(C)								
朝日地区の2公園は当初予定していなかったが、有償による指定管理として指定した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
朝日地区の公園の指定管理を前倒して指定できた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
門前せせらぎ公園においてはホタルの保護育成に取り組んでおり、鑑賞者の利用もあり年々利用者数(H20:6067人、H21:9344人、H22:9585人)が増加している。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成21年度からの指定管理期間は今年度で終了するため、指定管理を更新するにあたり有償の施設について料金の検討を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> C 悪い			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり) <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、当該集落を対象にした限定指定であるため、所管課には市民に対する十分な説明を行い、行き違い等がないよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者 平成23年6月30日	所属長 平成23年7月1日	行革担当 平成23年7月13日	本部会議 平成23年8月1日	行革委員会 個別意見 無		
取組内容		地元企業等の条件付公募で選定するもの【火葬場、朝日みどりの里、ゴルフ場】		体制コード	4-2-1-4			
所管		環境課		担当者・内線番号	土田 孝・272			
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
村上火葬場「無相院」及び山北火葬場で実施した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
し尿処理場の指定管理者の選定を「合特法」に係る代替業務として、関係する業者で行いたい。								
平成22年度取り組み内容(D)								
し尿処理場の指定管理者を「合特法」に係る代替業務として、関係する業者で組織される企業体に選定した。								
取り組みについての成果(C)								
「合特法」に基づく代替業務として、市内収集運搬4業者で設立した企業に業務を提供した。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
予定どおり実行されている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年度に指定管理者を更新する荒川火葬場の準備を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月13日	平成23年6月17日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	地元企業等の条件付公募で選定するもの【火葬場、朝日みどりの里、ゴルフ場】		体制コード	4-2-1-4				
所管	商工観光課 みどりの里		担当者・内線番号	田嶋雄洋 72 - 1551				
取組時期	H21	検討・実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> 第4回定例会で、条例改正案を提出する。 規則改正案を作成し、規則の改正を行う。 業務仕様書作成等の準備を進める。 								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>【朝日みどりの里】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4回定例会で、条例改正案を提案し、議決された。 規則改正案を作成し、規則改正を行った。 業務仕様書作成等の準備を進めた。 								
取り組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> 条例改正については、当初予定どおり、第4回定例会に提案し、議決された。 規則改正についても、年度内に終わることができた。 業務仕様書作成等に着手して、準備を進めた。 								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<ul style="list-style-type: none"> 条例改正及び規則改正については、着手はしたものの、計画どおり進んだ。 業務仕様書作成等については、思ったほど進まなかった。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> 年度末に、業務仕様書作成等に取り組んだが、新年度の準備や年度末の整理業務と重なり、思いどおりには進まなかった。 								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年4月1日から、指定管理されるよう、地元企業や会社などの条件を付して公募を行う。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
平成22年度中の取り組みについては予定どおり進んでいるため、所管課の評価のとおり、B評価とした。 今年度については、かなり規模の大きい施設のため、十分な検討の時間が取れるよう、早めの取り組みに努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有		
取組内容	指定管理者制度導入の数値目標		体制コード	4-2-1-5			
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)			
取組時期	H21	-	H21	132施設	成果数値	H21	132施設
	H22	-	H22	133施設		H22	153施設
	H23	-	H23	171施設		H23	
	H24	-	H24	245施設		H24	
	後期	-	導入施設数(4月1日)			導入施設数(翌年度4月1日)	
平成21年度取り組み内容(D)							
<p>山北火葬場について、予定どおり指定管理者を導入したが、施設の廃止(天神岡テニスコート)により、平成22年度4月1日時点での導入は132施設となった。</p>							
平成22年度中の実施目標(P)							
<p>予定の38施設に加え、高根交流広場を1年前倒して制度導入し、平成23年4月1日の指定管理施設数は、171施設とします。</p>							
平成22年度取り組み内容(D)							
<p>公募:1施設(ゴルフ場)、限定指定:20施設(農村公園6、し尿処理場、学童保育所2、夕日会館等2、神林地区体育施設9)の指定手続を行った。</p>							
取り組みについての成果(C)							
<p>経費の縮減が図られた。 経費比較(該当施設分) 当初予算 (H23)234,138千円 - (H22)304,010千円 = 69,872千円(行政経営係算出)</p>							
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<p>計画年度より早く指定管理者を導入した施設もあるが、目標数値に至らなかったため。 目標数値はその年度当初における導入数として掲げているが、成果数値は当該年度に指定管理導入手続きを完了したものを含めて記載した。</p>							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
<p>指定管理者制度の理解や事務手続きの遅れなどから、目標に至らなかったところがあった。 「施設見直し計画」による実施方針からの変更 ・導入年度繰り上げ及び追加 11施設(農村公園2・体育施設9) ・導入年度繰り下げ及び方針変更 28施設(駐車場1・デイサービスセンター1・いこいの家3・農村公園23)</p>							
平成23年度中の実施目標(P)							
<p>新たに55施設(老人福祉センター1・コミュニティホーム1・老人ホーム1・児童遊園地33・コミュニティセンター1・みどりの里関連15・いこいの家3)について指定管理者の導入を進める。</p>							
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
		<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
一定のルールや制度設計が不足している感がある。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年6月28日	平成23年6月30日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無	
取組内容	公園施設業務委託の内容、範囲の見直し		体制コード	4-2-2-1		
所管	山北支所 地域福祉課		担当者・内線番号	渡辺 律子 243		
取組時期	H21	見直し	H21	-	H21	-
	H22	目標数値	H22	-	H22	
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)						
平成22年度中に児童公園としての施設の廃止について、管理者(総代)をとおして地域住民に周知を図った。						
平成22年度中の実施目標(P)						
施設としての設置効果もないため廃止とする。						
平成22年度取り組み内容(D)						
【府屋児童公園】施設設備等(水道施設、樹木)の撤去、条例廃止						
取り組みについての成果(C)						
維持管理にかかる費用が不用となる。委託料10,000円と水道料12,000円が削減される。行政財産を用途廃止することにより、普通財産として施設の有効利用が期待される。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
施設見直し計画に示されたとおりに実行された。						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
地域住民の理解もあり、また地域住民が施設の維持管理を受託することが困難になったこともあってスムーズに廃止の手続きがなされた。						
平成23年度中の実施目標(P)						
目標達成済みによりなし						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者 平成23年6月20日	所属長 平成23年6月21日	行革担当 平成23年7月13日	本部会議 平成23年8月1日	行革委員会 個別意見 無			
取組内容	アウトソーシングの拡充・実施		体制コード	4-2-2-2				
所管	介護高齢課高齢福祉係		担当者・内線番号	田中和仁(内線367)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22		
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24		H24	-		H24		
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>老人福祉センターあかまつ荘の温泉配管及びボイラー施設の維持管理について、これまで故障時の修理で対応していたものを年間維持管理委託契約とした。事前にメンテナンスを行うことで、故障やトラブルがなくなり、これに伴う運営の中止や閉館が激減した。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>急なトラブルや機器の故障が減ったことで、安定的な運営が可能になったことと、来ていただいた利用者運営中止などで迷惑をかけるということが非常に少なくなった。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>H21年度と比較して、入浴施設にかかるトラブルが激減し、利用者に迷惑をかけることが非常に少なくなった。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>メンテナンス方法について、回数やメンテナンスの範囲や部品などの細部設定が必要と思っている。ただ、1年間だけの実績であるため、今後の委託方法について見直していきたい。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>平成24年度から指定管理が予定されており、これに向けて委託契約の内容について内容の精査と調整を行う。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>アウトソーシングの導入により、非常に成果が出たということなので所管課の評価のとおり、A評価とした。ただし、経費等を検証し、指定管理者制度の導入に向けて内容の精査をすること。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	アウトソーシングの拡充・実施		体制コード	4-2-2-2				
所管	下水道課 管理業務室		担当者・内線番号	中村豊昭・214				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
施設の維持管理を中心にほとんどの業務をアウトソーシングしているので拡大は見込めないが、平成23年度からの組織改革に伴う支所業務の本庁への移管を検討した。								
取り組みについての成果(C)								
平成23年度に入り、円滑に業務を遂行している。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
平成22年度に検討したように現在すすめている。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
支所業務の本庁への移管にあわせ、発注単位や業務内容の再検討が必要な業務もある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
発注単位や業務内容の再検討を行ないアウトソーシングの充実を図る。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	一元管理できる体制の見直し・実施		体制コード	4-2-2-3				
所管	財政行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	見直し	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、見直しすることとしました。								
平成22年度中の実施目標(P)								
組織改革ワーキング部会で見直しを行います。								
平成22年度取り組み内容(D)								
担当部署の一元化は行わず、H23組織機構改革に合わせた見直しは行わなかった。								
取り組みについての成果(C)								
特になし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
部制から課制への変更を主とした組織機構改革においては、大幅な業務の異動は行わず、見直しを行わなかったため。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
見直しにあたっては、担当課のヒアリングなども必要と考える。								
平成23年度中の実施目標(P)								
今後予定される組織改革等に合わせ、検討を行っていきたい。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
一定のルールや制度設計が不足している感がある。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会	
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有	
取組内容	保育園の年度別統廃合の検討		体制コード	4-3-1-1		
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	渡辺明美 241		
取組時期	H21	検討	H21	-	H21	-
	H22		H22	-	H22	
	H23		H23	-	H23	
	H24		H24	-	H24	
	後期		(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)						
-						
平成22年度中の実施目標(P)						
後期計画期間内での統廃合時期の検討。						
平成22年度取組み内容(D)						
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。						
取組みについての成果(C)						
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。						
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画的に進むことができず成果(C)とした。						
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)						
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。						
平成23年度中の実施目標(P)						
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。						
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
平成22年度中の実施目標よりも後退しているため、D評価とした。 なお、「(仮称)荒川統合保育園」建設も含めてスケジュールを定め、計画的に取り組んでください。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	荒川地区3保育園の統合・新設		体制コード	4-3-1-2				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	渡辺明美 241				
取組時期	H21	計画	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	設計		H22	-		H22	-
	H23	工事		H23	-		H23	
	H24	開園		H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
<p>新年度への測量(基本計画)業務委託料の予算化。</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
<p>設計監理業務委託契約の締結。</p>								
平成22年度取り組み内容(D)								
<p>荒川地区に計画されている「(仮称)荒川統合保育園」について、測量並びに敷地調査、基本計画業務委託を行い、実施設計に向けた基本計画書を作成した。</p>								
取り組みについての成果(C)								
<p>測量・基本計画作成業務委託の成果をもとに、地元選出議会議員、地元保護者、区長等に数回にわたり説明会を重ね、地域住民が不安に感じている諸課題について説明を行うことができた。</p>								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>建設予定地について、面積が狭く、200人規模の保育園運営が可能なのか、また、運営方法に関して、市が初めて導入する指定管理者制度導入についての不安など、十分な理解が得られず、当初予定通りの実施設計業務に取り掛かることが困難となったため。</p>								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>市が初めて導入する指定管理者制度導入についての考え方を説明するが、地元議員をはじめ保護者の方々から、理解を得ることが困難であった。</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
<p>建設検討委員会を立ち上げ、荒川地区の子育て支援施設にふさわしい統合保育園を建設するために必要な協議を行い、実施設計に反映するための提言をいただく。 更に、プロポーザル審査委員会を立ち上げ、実施設計業者の選定を行い、実施設計業務を着手する。</p>								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>当初の建設予定から大幅に遅れており(平成26年度開園予定)、また、平成22年度評価(所管)や取り組みについての感想にも記載されているように、取り組み自体もうまく進んでいないため、D評価とした。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	上海府保育園の瀬波保育園への統廃合の検討、用地取得		体制コード	4-3-1-3				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	渡辺明美 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	用地取得		H23	-		H23	
	H24	設計		H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
用地取得に向けての調査。								
平成22年度中の実施目標(P)								
統廃合の手法の検討。								
平成22年度取り組み内容(D)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い <input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画的に進むことができず成果(C)とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い <input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> C 悪い <input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
平成22年度中の実施目標よりも後退しているため、D評価とした。 なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているので、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	市中心部の3保育園の集約の検討		体制コード	4-3-1-4				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	渡辺明美 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
今後の村上地区の保育園のあり方について検討を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
集約についての検討。								
平成22年度取り組み内容(D)								
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。								
取り組みについての成果(C)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画的に進むことができず成果(C)とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているので、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月30日	平成23年7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	朝日地区5 保育園の集約の検討		体制コード	4-3-1-5				
所管	福祉課子育て支援室		担当者・内線番号	渡辺明美 241				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
集約についての検討。								
平成22年度取り組み内容(D)								
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。								
取り組みについての成果(C)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
計画的に進むことができず成果(C)とした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。 なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているので、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちであり、地域づくりの根幹を置き去りにしている。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月23日	平成23年6月23日	平成23年7月13日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	集落集会施設の移譲の検討		体制コード	4-3-2-1				
所管	朝日支所地域振興課自治振興室		担当者・内線番号	岩沢深雪(207)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> 施設改革シートの作成(特に建設時の補助金等の名称)により、対象施設の見極めを行った。 								
平成22年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> 施設移譲に向けた具体的なスケジュールを検討、これに基づき指定管理者(27集落区長)に周知を図る。 譲渡先(法人格等の有無)の調査実施。 								
平成22年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> 集落集会施設検討ワーキング部会の設置。 ワーキング部会の取り組み。(施設移譲に向けた取り組み整理。施設個別概要表・移譲に向けたスケジュール作成。) 指定管理者へ移譲に向けた市の方針を説明。(法人格の取得、登録免許税等) 								
取り組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度施設移譲予定先である17集落について、地縁団体の認可手続きを完了することが出来た。 国県と補助事業に係る「財産処分報告」の事前協議、或いは事前協議前の協議を完了することが出来た。 								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度施設移譲予定先17集落について、市の取り組みを十分に理解していただき、認可地縁団体設立、登録免許税の確保等相手先としての体制を整えることが出来た。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> 集落集会施設の移譲において、指定管理者(集落区長)の理解が十分得られたことは大変有難いことであった。それが円滑な認可地縁団体設立に繋がったと思う。 								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成24年度施設移譲予定17施設について <ul style="list-style-type: none"> 補助事業財産処分手続きの完了 行政財産用途廃止手続き 市有財産譲与仮契約 								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	集落集会施設の移譲の実施		体制コード	4-3-2-2				
所管	財政課行政経営係		担当者・内線番号	高橋洋一(内線327)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		H23	-		H23		
	H24		実施	H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。								
平成22年度取組み内容(D)								
「集落集会施設検討ワーキング部会」を設置し、H24.4月の移譲に向け、市で必要となる手続きや集落において負担することとなる経費、地縁団体の設立等を協議し、該当集落等への説明を行った。								
取組みについての成果(C)								
移譲対象施設:72施設 うち H24.4移譲予定対象 61施設								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
当該集落で対応していただく必要があるものなど、一定の方針をもって説明を行うことができた。								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
市の方針説明などにおいて対応が遅れたところがあったが、多くの集落で移譲する方針を受け入れていただいた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
財産処分及び登記事項の手続きを進め、H24.4月の移譲を行っていく。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 ただし、地域ごとで進み方に差が出ているので、移譲に向けて計画的に取り組むを進めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)		担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会		
		平成23年7月1日	平成23年7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日	個別意見 無		
取組内容		再利用可能施設の利用の検討・実施		体制コード	4-3-3-1			
所管		財政課		担当者・内線番号	須貝民雄・325			
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23	実施		H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
用途廃止した施設の把握及び市民の有効利用のための貸付。								
平成22年度中の実施目標(P)								
再利用施設の全体把握を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
財産台帳の整備を実施した。計画的な解体処理を進めるため、普通財産(建物)解体処理計画を作成し、対象建物のリストを作成した。								
取り組みについての成果(C)								
リストを作成したことにより物件数等が把握でき、計画的な解体を実施するための基礎資料とすることができる。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
計画どおりに行った。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
緊急雇用創出事業を活用し、業務委託等により、集中的に作業を行ったことで取り組みが適切に行われた。建物が残存しているため、不動産の売却が敬遠されるケースもあることから、老朽化が進んだ建物については解体を行い、土地の売却を図る必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
倒壊や壁が落ちるなどの危険性があり、老朽化の進行した建物から優先して解体を進める。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	協働のまちづくりについての周知		体制コード	5-1-1-1				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> ・H21.5.2号市報で、行政改革大綱の一方策として周知。 ・H22.1.8 村上地区分館長会議において市民協働のまちづくり概要を説明。 ・H22.2.18 各地区公民館長、公民館職員会議において市民協働のまちづくり推進プログラム(試案)を説明。 ・H22.3.17 村上地区区長会役員会議において市民協働のまちづくり推進プログラム(試案)を説明。 								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度から本格検討に入ることから、「協働」の意義やまちづくり協議会といった組織や人的・財政支援を含め、市報等により周知すると同時に条例や要綱を策定する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> ・H22.4.9～21 村上地区各区長会に市民協働のまちづくり推進プログラム、スケジュール説明 ・H22.5.24 市職員向けメルマガ配信 ・H22.6.18 村上地区公民館・分館長会議(協働のまちづくり推進スケジュールについて) ・H22.6.22 地区公民館・担当職員研修会(まちづくり組織、財政支援、地区公民館及び分館業務の考え方) ・H22.7.9 市ホームページに「市民協働のまちづくり」ページ立ち上げ ・H22.7.13 市議会会派「村上未来」勉強会(市民協働のまちづくり推進手法について) ・H22.7.20～28 各地区公民館・地域振興課との打合せ(自治振興室の業務量把握のための地区公民館業務調査) ・H22.7.30 村上地区公民館との打合せ(分館業務との棲み分けについての確認) ・H22.8～9月 各地区地域審議会(地域まちづくり組織設置区域について) ・H22.8.25 村上商工会議所青年部との意見交換会(村上地区の中心市街地での進め方について) ・H22.9.1 市報による市民協働のまちづくりについての周知 ・H22.11.4 市職員(係長以上)研修会:元気な村上とするために～地域の一員として何をすべきか～(講師:小田切教授) ・H22.12.17 市議会全員協議会(村上地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例の骨子案) ・H23.2.21 市議会全員協議会(同条例の概要について) ・H23.3.25 定例会(同条例議決) ・H23.4.1 同条例施行 								
取り組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> ・市組織再編に向けた調整及び市民協働のまちづくりに向けた市職員のスキルアップが図られた。 ・市民への情報公開については、市報やホームページを利用した情報提供を実施してきたが、「協働」の言葉が先行する形になったことは反省すべき点である。 								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取組みでもあり、市民に誤解を招かないように配慮したが、市民サイドに立った周知方法を工夫すべきであった。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> ・合併への不満や行政内部の組織機構改革の中で、本市の重点施策である「市民協働のまちづくり」をどのように周知し、機運を高めていくかが、大きな壁であり、大変なエネルギーを必要とすることが改めて実感した。交付金という市税を利用し、地域や住民が輝くまちづくりは、地域力にかかっていることはゆがめないが、行政としてすべての職員が本気になり同じ汗をかくことが大切であり、また、やり直しがきかない大きな事業であるため、地域の意見に基づいたまちづくりを進めなければならない。 								

平成23年度中の実施目標(P)		
<ul style="list-style-type: none"> 市報や回覧のほか、地域毎に作成した広報やホームページによる協働意識の醸成をさらに推進する。 各地区毎にフォーラムを開催し、協働意識や参画意識の醸成を図る。 		
平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>所管課評価に同じ。 なお、市報やホームページでの周知が、当初に比べだんだん減ってきているので、内容の充実と周知方法の工夫に努めること。</p>		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
<p>行革担当評価に同じ。</p>		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
<p>具体的意見・要望(A)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 単に指針の作成を行う事だけでなく、市民に協働の本質を伝えられる工夫をするなど、目的と手段を混同することなく取り組んでいると感じられた。 重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。 協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。 		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	「市民協働のまちづくり指針」の作成		体制コード	5-1-1-2				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	作成	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
・H21.11「市民協働のまちづくり指針」を策定。								
平成22年度中の実施目標(P)								
「市民協働のまちづくり推進プログラム」をまとめ、推進に向けた行動計画に資する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・市民協働のまちづくり推進プログラム策定 ・市民協働のまちづくり推進プログラムをよりわかりやすくした「はじめの一步の考え方」を作成								
取り組みについての成果(C)								
・各種説明会において、指針～はじめの一步の考え方を使用し、できる限りわかりやすい説明に心がけた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
・指針については、全国どこでも同じようなものであったため、本市の独自性を出しながら、資料の作成を行った。特に行革による市民協働のまちづくりの派生は、市民に行財政改革のツケを回すことに他ならないことの誤解を払拭するよう心がけた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・指針をよりかみ砕いて、市民協働のまちづくりが行財政改革の手法ではないことを、市民に周知したことにより、少しでも行政の下請けでないことを理解していただけるよう配慮した。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・なし								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
平成22年度中の実施目標に定めた計画通り実施されたため、B評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・市民協働のまちづくり、この考え方は新しい公共の考え方であり、市民が公共をつくり市民の利益につなげていかなければならない。公共は行政の都合で行うのではなく市民がやりたいと思う事を実行していく。また、行政は市民に見せたくない部分に、積極的に市民を参加させることが協働のまちづくりにつながっていくものと考えている。また地域の中に公共を支える民の力があることを認識しなければならないし、市民がコントロールできる行政が望ましい。</p> <p>・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。</p> <p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	協働のまちづくりについての説明会の開催		体制コード	5-1-1-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
協働のまちづくりについての周知と同じ。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市民に対し、市報等による周知のほか、説明会を開催し協働のまちづくりの必要性と参画意識を醸成する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> ・H22.4.9～21 村上地区各地域区長会(市民協働のまちづくり、推進プログラム等) ・H22.7.9 市ホームページへ市民協働のページを立ち上げる ・H22.8.26 朝日地区嘱託員会議(市民協働のまちづくりと地域審議会の意見について) ・H22.9.1 市報による市民協働のまちづくりについて周知 ・H22.11.26 神林地区区長会(市民協働のまちづくりと地域組織の考え方) ・H23.2.1 荒川地区区長会(同上) 								
取り組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> ・各区長等に対し、本市の目指す市民協働のまちづくりについては、一定の理解が得られたと思うが、一般市民への説明会については、推進スケジュールの延期や説明会の内容や手法を見いだすことができず、各地区市職員担当者決定後に、検討することとした。 								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
<ul style="list-style-type: none"> ・現時点において想定される周知や説明会を行ってきたが、市民に対する説明が不足していたように思える。しかし、不特定多数への説明は、説明後のフォローアップ等を考慮しないと、誤解や感情論が先行することになりかねないことから、慎重に行う必要があると感じた。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> ・単なる市民協働のまちづくりに関する説明会では、市民参加の機運が薄いため、今日までの市民と行政の信頼関係、また、旧自治体毎にその手法も違っているようであるため、合併したとはいえ地区ごとの考え方や周知方法に一考を投じる必要があると感じた。 								
平成23年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興室職員による、地元説明や意見交換会を集落単位等で実施する。 								

平成22年度評価(行革担当)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。</p> <p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	先進地の協働の取り組みの研修		体制コード	5-1-1-4				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
市職員に対し、講演会および研修を検討し、H22年度に係長級の市職員を対象とした講演会を計画できた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市民協働のまちづくりの推進にあたっては、コーディネーターとなる職員や地域の職員参加および行政のバックアップが重要であることから、職員を対象とした講演会や講習会を実施する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・H22.11.4 市職員(係長以上)研修会 講演:元気な村とするために～地域の一員として何をすべきか～ 講師:明治大学農学部 小田切 教授 小田切教授の許可を得て、DVDに講演を収録し、本庁及び各支所に配付した。								
取り組みについての成果(C)								
・時期的にタイムリーな講演内容で参考になったと思われる。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
・職員間に温度差はあるものの、現在の国の動きや先進都市の事例が聞けたのは、これから協働のまちづくりを進める上で参考になったものと思われる。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・研修については、講師の都合で1日1回の研修となったことから、日中の研修として業務を比較的空けやすい係長級以上となったことは、反省すべき点である。なお、このことを補完する目的でDVDを配付したが、その利用も少なかったようである。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・実際に協働事業に携わった人を招致して、生きた研修を一般市職員以上を対象に実施を予定 ・担当する自治振興室職員については、先進都市視察を実施する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。</p> <p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	職員の意識改革のための研修会の実施		体制コード	5-1-1-5				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
市職員に対し、講演会および研修を検討し、H22年度に係長級の市職員を対象とした講演会を計画できた。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市全職員に対し、月2回のメールマガジンを配信。アンケートをとるとともに市内の事例を紹介するなど市職員の意識改革や自治活動への参画意識の醸成に資する取り組みを行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・H22.5.24～から月2回のメールマガジン配信及び意見徴収を実施。職員間においては温度差はあるが、協働への意識付けに寄与できた。								
取り組みについての成果(C)								
・協働に対する職員の意識の高揚								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・継続して、情報の受発信が出来たことは大きいと考える。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・メールマガジンにより、職員間に情報交換やイベントの案内など多岐に渡った協働のまちづくりに向けての下地が整いつつあるものの、参画する職員が限定してきている。しかしながら、情報を受けることの重要性は必ずあるものと思われる。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・メールマガジンについては、その情報の発信を本庁のみでなく、各支所からも行い、その情報の共有化を図る。 ・協働のまちづくりを推進するためには、市職員が一枚岩となりその力を十二分発揮することが重要であることから、さらなる情報の共有や交換の場を図るために「ツイッター」を取り入れを検討する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 なお、メールマガジンについても、当初よりも配信頻度が減ってきているので、継続または新たな手法を行うなど、さらなる情報の共有に努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大きく、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。</p> <p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	徹底した情報公開の推進		体制コード	5-2-1-1				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	竹内和広・531				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
<p>・H21.5.1号市報で行政改革大綱の一方策として周知したが、行政全体としての情報の公開や提供が未だに十分とはいえない状態であり、積極的な情報公開の意義等を行政内部に周知させる必要がある。</p>								
平成22年度中の実施目標(P)								
市報やホームページのさらなる充実を図るとともに、職員に対しても積極的な情報開示や伝達力の向上を推進する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
なし								
取り組みについての成果(C)								
特に取組みは実施しなかったが、政策推進課の所管業務は積極的な情報公開を実施した。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
全課への公開の呼びかけは実施しなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<p>評価できる成果及び指標が不明 情報公開の推進は主たる公開ツールを所管する政策推進課の取組みでなく、全課共通の取組みとなる 全課の個別計画をホームページに掲載するよう本部で指示するべきと思う</p>								
平成23年度中の実施目標(P)								
全課の個別計画をホームページに掲載する。(全課共通の取組みとして)								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
情報公開の推進については全課共通の取組みという部分もあるため、C評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。</p> <p>・情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	広報・広聴組織の充実		体制コード	5-2-1-2				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	竹内和広・531				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		実施	H22		-	H22	-
	H23		H23	-		H23	-	
	H24		H24	-		H24	-	
	後期		(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
本庁各課の広報協力員や各支所の広報広聴担当者との協力体制の充実を図り、市民へ分かりやすい情報の提供を行う。								
平成22年度取り組み内容(D)								
広報協力員会議 平成22年4月開催 本庁・支所広報担当者会議 月1回開催 次号編集内容の打合せ 平成23年2月 平成23年度の編集内容(コーナー)、市政懇談会、暮らしの便利帳等								
取り組みについての成果(C)								
定期的に会議は開催したが特に際立った成果はない								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
会議そのものが連絡会議的であり、職員の広報編集スキルの向上に繋がらなかったため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
会議時間が1時間程度で短かった。 研修要素を取り込めなかった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
本庁・支所担当者会議に研修要素(構成、写真等)を取り組む 県協議会開催の研修会に積極的に参加する								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。</p> <p>・情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	ホームページの充実		体制コード	5-2-1-3				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	高橋章宏・533				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
各課にホームページ管理担当者を設置し、コンテンツ(情報)の収集、更新、追加を図った。また、ホームページ操作研修を行い、各課でコンテンツを作成、更新できる体制整備を行った。								
平成22年度中の実施目標(P)								
情報不足を補うため、また、タイムリーに情報発信するため、ホームページ管理担当者会議の開催や操作研修を実施する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
ホームページ担当者会議の開催 1回 ホームページ作成研修会の開催 1回								
取り組みについての成果(C)								
研修会を通し複数の課で作成することができるようになった								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
課により完成度の差が大きく、平準化されていないため								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
研修会を複数回開催する必要がある 新採用職員や異動職員など、対象を絞って研修を行い、ホームページ作成技術を習得させる必要がある								
平成23年度中の実施目標(P)								
新採用職員や異動して新たに担当することとなった職員を対象としたホームページ作成研修会を開催する								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
各課での作成が標準化し、その中身について成果、評価が記載できるようになるよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。</p> <p>・情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月17日	平成23年6月30日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 無			
取組内容	市政懇談会や出前講座の拡充		体制コード	5-2-1-4				
所管	生涯学習課 社会教育推進室		担当者・内線番号	平山美穂 内線朝日235				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	5375人
	H23			H23	-		H23	-
	H24			H24	-		H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)								
・出前講座については、65講座実施し、参加者数は1,753人であった。								
平成22年度中の実施目標(P)								
市報むらかみに掲載し、市民へ情報提供する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
175講座実施し、参加者数は5,375人。								
取り組みについての成果(C)								
市役所・消防・新潟地方法務局・税務署・警察所・村上地域振興局の協力により、22年度は44講座の準備ができた。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
市民へ学習機会を提供するという目的を達成できた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
各課に年末に照会し、実施結果を報告してもらっているが、各課で講座の数え方が異なっていたことが分かった。このため、23年度末に実績を依頼する際は、統一するよう呼びかける必要がある。								
平成23年度中の実施目標(P)								
同上								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
回数も参加者数も増加しており、所管課の評価のとおり、B評価とする。 なお、より一層出前講座の内容の充実や、PRに努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年度に向けての要望がある場合に記載)		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	地域活動や市民団体活動の紹介		体制コード	5-2-1-5				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	検討	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22	実施		H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
市民協働のまちづくり指針に基づき、市民協働のまちづくりプログラム(試案)を作成した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
協働のまちづくりの推進にあたっては、NPO法人や各種団体の協力が不可欠であることから、各種まちづくりの実績や活動状況を市報やホームページで紹介する。								
平成22年度取組み内容(D)								
・未実施								
取組みについての成果(C)								
・該当無し								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い		
・未実施につきD								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・一部の団体の紹介に偏ったり、逆に紹介することでNPO法人等の活動の妨げになる場合もあることから慎重に対応すべきと判断した。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・なし								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い		
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い		
取組みは行われなかったが、「慎重に対応すべきと判断した」ということであるので、C評価とした。 ただし、趣旨である協働のまちづくりの意識高揚の妨げにならないよう、別の手法を検討するなど、情報の共有化の推進に努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
情報公開やそれに向けた取り組みは遅れている。		

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・広く住民の意見を収集できるよう、方策の多岐化を望む。</p> <p>・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月29日	平成23年7月1日	平成23年7月11日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	パブリックコメント制度の導入		体制コード	5-2-2-2				
所管	政策推進課 企画政策室		担当者・内線番号	佐藤克也・531				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	-
	H24			H24		-	H24	-
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
導入に向け、本市にあった制度を検討する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
各市町村の実施状況及び制度内容の情報収集を実施した。								
取り組みについての成果(C)								
なし								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
情報収集で終り、制度の検討まで着手しなかった。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
制度構築にあたっては現行業務への影響を充分考慮し進める必要性を強く感じた。								
平成23年度中の実施目標(P)								
現行の個別計画での位置付けの確認 制度の研究								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
検討しなかったということで、D評価とした。 また、平成23年度の実施目標による検討の結果については、今年度中にまとめるよう努めること。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・制度検討に着手しなかった(できなかった)理由、原因の掘り下げがない。</p> <p>・行政手続法の努力規定に基づき条例等で定めるということを前提としているのか。</p> <p>・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	市民相互の協働に繋がる仕組みづくりの構築		体制コード	5-2-2-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
「市民協働のまちづくり推進プログラム」などをまとめ、公表するとともに、関係各課と調整を図り、仕組みづくり検討する。								
平成22年度取組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のまちづくり推進プログラムを策定・公表 推進プログラムをわかりやすくするため、はじめの一步の考え方を作成し、説明会等で使用した。 各課に「市民協働推進員」の設置を検討し、要綱策定を開始した。 								
取組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> 成果という点では、協働のまちづくりの仕組みづくりには至っていない。 								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<ul style="list-style-type: none"> 成果からの判断 								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のまちづくりは、上意下達の手法では成立しないものであるため、その仕組みづくりも多種多様である。このため、地域に根ざした無理のない仕組みづくりを地域住民と一緒に築き上げて行く必要がある。 								
平成23年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> 各地区における市民協働のまちづくりの仕組みを構築していく。 								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。 取組みについての感想に記載されている「地域に根ざした無理のない仕組みづくりを地域住民と一緒に築き上げて行く必要がある」を行っていくためには、市民説明会の開催や、情報の共有化を図っていくなど、まだまだ取り組んでいかなければならないことが多くあるので、スケジュールを定め、計画的な取組みを行うこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p> <p>・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	職員の地域活動等への参加促進		体制コード	5-2-2-4				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	実施	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-
	H22			H22	-		H22	-
	H23			H23	-		H23	
	H24			H24	-		H24	
	後期			(単位:人、%、円など)			(単位:人、%、円など)	
平成21年度取組み内容(D)								
職員の意識改革、協働意識の醸成につながる取組みの一環として職員向け研修会の開催を検討した。								
平成22年度中の実施目標(P)								
協働のまちづくりの推進あたっては、地域職員の全員参加が不可欠であるため、協議会組織や仕組みづくりを行う。								
平成22年度取組み内容(D)								
・未実施								
取組みについての成果(C)								
・該当無し								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・未実施につきD								
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・地域職員の地域活動への参加は、各地区・地域の実情等により違っており、町内・集落の役員等で貢献しているもの、町内・集落活動に参加しないもの様々である。しかしながら、地域社会のため貢献したいと願っていることは事実であることから、参加していない場合はそのきっかけづくりが重要と考える。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・先進都市の協働のまちづくりに携わった自治体職員等を講師に招き職員の研修を実施予定								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。</p> <p>・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	補助制度や助成制度の整備		体制コード	5-3-1-1				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討・実施	H22		-	H22	-
	H23			H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
コミュニティ活動の拠点となる、集会施設整備事業補助金制度や協働のまちづくり推進のための財政支援のための条例・要綱を策定する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・H22.6.15 村上市集会施設整備事業補助金交付要綱施行 ・H23.4.1施行に向けて「村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例」「同施行規則」を検討								
取り組みについての成果(C)								
・計画どおりに施行ができ、かつ、集会施設整備事業補助金交付要綱については、わかりやすくまとめた、概要版と手続きの流れについて、全区長等へ送付した。また、職員用として事務処理要領を作成し、各支所地域振興課へ配付し、手続きの一元化を図った。								
平成22年度評価(所管)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・評価により判断し、計画どおりの執行であったためBとした。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・集落施設整備事業補助金交付要綱については、合併前の各市町村要綱にばらつきがあり、合併時に平成23年度から施行の市新要綱を作成されていたが、事業区分が明確でなかったこと、補助率については行革大綱に基づかないものであったこと、集会施設については地域コミュニティの中核を担う大切な施設であることから、地域住民に対し負担軽減を行うことなどを総合的に判断し、補助金の種別、補助金額を設定し、利用しやすくてきたと考える。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例については、特に交付金の執行に関して公平正等を担保するため、ガイドラインを作成する。								
平成22年度評価(行革担当)(C)		<input type="checkbox"/> A 非常に良い			<input type="checkbox"/> C 悪い			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)			<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input checked="" type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
計画通りに施行出来ただけでなく、手続きの一元化など、市民の立場に立った事務処理の効率化まで行っている点は良いと思う。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者		所属長		行革担当		本部会議		行革委員会		
	平成23年6月14日		平成23年6月20日		平成23年7月15日		平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容		まちづくりのリーダーとなる団体・人材育成のための支援や研修会の実施				体制コード		5-3-1-3			
所管		自治振興課 自治振興室			担当者・内線番号		佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21			目標数値	H21	-		成果数値	H21	-	
	H22	検討			H22	-			H22	-	
	H23	実施			H23	-			H23		
	H24				H24	-			H24		
	後期				(単位:人、%、円など)				(単位:人、%、円など)		
平成21年度取組み内容(D)											
-											
平成22年度中の実施目標(P)											
平成23年度からの本格実施に向けて、まちづくり協議会の組織や地域リーダーの育成のための支援や情報提供を検討する。											
平成22年度取組み内容(D)											
・未実施											
取組みについての成果(C)											
・該当無し											
平成22年度評価(所管)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・未実施につきD											
取組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)											
・なし											
平成23年度中の実施目標(P)											
・まちづくり組織の設置に合わせ各地域のリーダー育成を検討する。											
平成22年度評価(行革担当)(C)				<input type="checkbox"/> A 非常に良い				<input type="checkbox"/> C 悪い			
				<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)				<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。											

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input checked="" type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>全くの未経験者をリーダーに育成するなど考えずに、現に地域活動をしている人たちがいるわけだから、そういう人を講師にしてネットワークを構築するなどの方法ではいかがでしょうか。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	自治振興課及び自治振興室の設置		体制コード	5-3-2-1				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		H22	-		H22	-	
	H23		設置	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度に設置予定の自治振興課へのシームレスな業務移行を行うため、12月をめどにその準備を完了する。								
平成22年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のまちづくりの取り組む事業の中で関係の深い各地区公民館事業の調査を行った。 分館の廃止に伴い、分館事業の引継および村上地区公民館事業との調整を行った。 								
取り組みについての成果(C)								
<ul style="list-style-type: none"> 分館の廃止に伴う関係住民の不安を解消するため、村上地区区長会に他地区区長会に先んじて説明会を開催した。 								
平成22年度評価(所管)(C)			<input checked="" type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<ul style="list-style-type: none"> 関係住民の不安の解消に努めた。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> 分館を所管する生涯学習課の対応が遅れ、協働のまちづくりによって分館が廃止されるような市の方針であるかのごとく地域住民に受け止められ、協働のまちづくりの推進に支障が生じた。 								
平成23年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> 地域の特色を活かした魅力ある市民協働のまちづくりの推進と各支所自治振興室・自治振興課の連携を図るため、月に1回のペースで担当者会議を開催する。 								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<p>予定どおり自治振興課および自治振興室の設置が行われたため、B評価とした。</p>								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>説明会に参加したが、説明している職員が内容をよく理解していなかった。担当職員の勉強不足としか言いようがない。</p>		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	支所庁舎を中心とした、市民や地域の団体を結ぶネットワーク強化		体制コード	5-3-2-2				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度に設置予定の自治振興課・自治振興室および行政組織の連携強化を図る目的として連携体制の検討を図る。								
平成22年度取り組み内容(D)								
<ul style="list-style-type: none"> 各庁舎単位で各課に「市民協働推進員」を設置すべく要綱等の検討を行った。 意識啓発を目的とした市職員に対するメールマガジンの配信を行った。 								
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働推進員の設置に向けて、職員の意識の醸成が必要であるとの判断のもと、全職員に対しメールマガジンにより、本市が進めようとしている市民協働のまちづくりの手法や方針等を月2回のペースで配信するとともに広く意見や話題を徴収した。 								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
<ul style="list-style-type: none"> 計画どおりに検討ができた。 								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
<ul style="list-style-type: none"> 市職員の意識付けについては、これからが本番であり、地域のキーマンとなれるよう様々な手法を投じていきたい。 								
平成23年度中の実施目標(P)								
<ul style="list-style-type: none"> 各庁舎単位で各課に「市民協働推進員」を設置し、地域の課題への対応の迅速化を図る。 								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
所管課評価に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input type="checkbox"/> C 悪い
	<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
取り組みが遅い。		

平成22年度 行革大綱実施計画進捗管理表

記入日 (確認日)	担当者	所属長	行革担当	本部会議	行革委員会			
	平成23年6月14日	平成23年6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日	個別意見 有			
取組内容	「(仮称) 地域まちづくり協議会」 の設立と開催		体制コード	5-3-2-3				
所管	自治振興課 自治振興室		担当者・内線番号	佐藤憲昭(331)				
取組時期	H21	目標数値	H21	-	成果数値	H21	-	
	H22		検討	H22		-	H22	-
	H23		実施	H23		-	H23	
	H24			H24		-	H24	
	後期			(単位:人、%、円など)		(単位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)								
-								
平成22年度中の実施目標(P)								
平成23年度以降のまちづくり協議会設立に向け、職員のコーディネート力を身につけさせ、地域住民が参加しやすい組織の立ち上げと、開催をサポートする。								
平成22年度取り組み内容(D)								
・協議会(まちづくり組織)を立ち上げる意味、市民協働のまちづくりの必要性等を十分周知していただくため、市民に対しては、市報やホームページにより情報提供を行うとともに、各地域審議会や区長等への説明会を実施した。 ・職員への対応は、各支所地域振興課との連携会議での検討や職員研修会、メールマガジンなどによる意識の高揚・共通認識の構築に努めた。								
取り組みについての成果(C)								
・協働の意味や認識がまだ十分とは言えない状況もあり、今後においても辛抱強く意識づくりを行っていく。								
平成22年度評価(所管)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input type="checkbox"/> C 悪い			
			<input checked="" type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
・行政組織の再編の関係で、1年遅れの計画となったが、市民への周知等の必要性から有効な時間を費やすことができた。								
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
・市民への周知よりも市職員の意識の統一が大変であるように思えた。「他課のやることだから分からない」という認識は避けなければならないことであり、そのためにも全職員の意識づくりが重要と考える。								
平成23年度中の実施目標(P)								
・各地区においてまちづくり組織を立ち上げる。								
平成22年度評価(行革担当)(C)			<input type="checkbox"/> A 非常に良い		<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い			
			<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)		<input type="checkbox"/> D 非常に悪い			
予定よりも取り組みが遅れているため、C評価とした。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	<input type="checkbox"/> A 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> C 悪い
	<input type="checkbox"/> B 良い(計画どおり)	<input type="checkbox"/> D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	<input type="checkbox"/> 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)	
	<input type="checkbox"/> 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(上記に該当しない個別意見)	
具体的意見・要望(A)		
<p>・取り組みは遅れているが、職員の意識づくりの重要性など、今後の取り組みについてポイントの把握が出来る。</p> <p>・取り組みについての感想は大きな問題である。</p>		

全体を通しての意見・感想

- ・自治の原点 地方自治体の基本は自治であり、自治を高めることが原点である。自治の原点は集落にあり、以前は集落で全部出来ていた。この自治の原点が集落の自治で完全自己完結型であった。それが出来なくなった。技術的に出来なくなったとか、また人手が足りなくなって出来なくなった。そこで頼まれたのが市役所です。それがいつの間にか市役所が主役になっていった。このことを分かっていたり知っていれば市役所の考えも変わっていたと思う。地域自治を構成する要素として住民がいて、共通の課題と作業があって、負担があった。そして決定機構も全員で決めていた。それが大前提であった。最終的に実行は誰がするのか、そしてどういう地域でまとめればよいのか。これらが自治の原点である。どのような問題でもこの原点の上に立ち思考することで課題や展望が見えてくるものと思う。
- ・全く取り組みがされていないもの、D評価でありながら、出来なかった理由、原因、反省の記述の無いものもあり、改善が求められる。
- ・計画通りであっても無くても、客観的に問題点や気づきがあった場合、担当部署のみでなく、市行政組織全体でその情報を共有し、組織全体の改善につなげるシステムの構築が必要であると思われる。
- ・行革担当評価が的確である。
- ・市の行政改革大綱の前期実施計画で基本方針であり、非常に大きな課題であります。今後の人口減少に伴い税収減は明らかであり、遊休財産の利活用は急務と考えなければなりません。予想するに、真っ向から対応しているとは感じられません。2-2-4-3～6は、具体的に教えてください、見落としや精査不足はありませんか。また、4-1-2-2については合理的手法を講じてみたらいかがでしょうか。必ず見つかります。目標を定めた専門的な、資産売却も含む利活用の協議が必要のようです。もし、村上市が民間企業「(株)村上市」だったら、穏やかではありません。今年、自然災害による甚大な被害が日本列島を揺るがしました。今こそ将来に向けて我が村上市のあり方を考える重要な時と考えます。
- ・職員としての資質向上や意識改革につながる項目についての取組が、遅れているように感ずる。そのことがどういう理由によるものなのか、もう少し掘り下げた検証をいただきたい。
- ・市政を評価・検討するには専門的な知識、時間、信念、責任が必要である。とても困難で膨大な作業となる。また、本来は市議会議員がこうした評価・検討作業を踏まえての議員活動や市政への提言をしていくのであるからにして、外部評価検討は多重のチェックとして必要ではあるが、果たして有効なのか(フィードバックのタイムラグも含め)再度検討する必要があるのかもしれない。(財政他の細部については不勉強のためコメント控えます)
- ・各項目について、所管が評価し、行革担当が評価したことに専門家でない者が意見を申し上げることは、大変むずかしいことでした。組織・職員改革・財政改革の歳入改革に気がついたことを述べさせていただきました。
- ・所管課における評価について、各取組内容ごとに一葉の管理表となっていることから、どうしてもその取組内容中心の評価になってしまうことは、当然なのかもしれない。しかし、それによって、本来なぜその取組内容が行革大綱実施計画に掲載されているのかという本質を忘れた評価になっては、せっかくの取組が生かされないどころか、違う方向へ進む可能性もあると感じた。あくまでも行革は手段であって目的ではないということを、もう一度改めて訴えたい。
- ・本来の業務のほか、多忙な中時間を割いて検討し推進している項目も多く、その努力を評価するとともに、今後いっそう、全市民が「合併してよかった」と実感できる取り組みを期待したい。
- ・行革を進めることにより事務の効率化や経費の節減は進んでいると思われるが、それにより支所の存在感というのが脆弱になっているのではないかと。行政改革大綱に記載しているとおり、各支所35人体制を目指し進んでいくことになると思われるが、それにより支所の機能が低下し、公正な住民サービスが受けられないことになっては本来の行政改革ではないはずである。広大な圏域を持つ村上市だからこそ、各地域において支所の果たす役割というもの大きいと思われるので、本庁と支所のあり方を今一度検証し、各地域の特色に合わせて全市民が公正なサービスを受けられるような支所の機能強化にも是非、取り組んでいただきたい。